

白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方に関するアンケートのお願い

日頃より、白井市の教育行政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、白井市立桜台小学校・桜台中学校にある自校式の給食調理場の老朽化等に伴い、同校児童・生徒に安全で安心な学校給食を効率的に供給するため、今後の同校の給食調理場のあり方について検討が必要となっております。桜台小中学校 PTA アンケートでは、74.6%の方が桜台地区の特色として自校方式給食の存続を希望し、その旨の要望書が提出されました。

そこで、教育委員会では、「白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会」を設立し、昨年12月より検討を進めております。

この度、桜台小学校・桜台中学校の給食のあり方を検討する参考として、市民の皆様のお考えを伺うアンケートを実施することになりました。そこで、市内にお住いの18歳以上の方の中から1,500人を無作為に抽出し、アンケートを送付させていただいております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、別紙「白井市の学校給食について」を参照に、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

アンケートにご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理するため、個々の方のご回答内容が特定されるようなことは一切ございません。

【ご回答期限】

ご記入いただいたアンケートを同封の返信用封筒に入れて、令和3年8月23日(月)までにご投函ください。(切手の貼付及び差出人記入は不要です。)

【お問い合わせ先】

白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会事務局

白井市教育委員会 教育支援課

電話 047-492-1111 (内線3871)

FAX 047-492-6377

【参考】

桜台小学校ホームページ <http://www.e-shiroi.jp/skr/>

桜台中学校ホームページ <http://www.e-shiroi.jp/skjh/>

白井市ホームページ内 写真で見る給食 <https://www.city.shiroi.chiba.jp/>



白井市の学校給食について

別紙

①現在、市内小中学校の給食は、桜台小中学校（2校）が自校方式で、その他の小中学校は給食センター方式で提供されています。現状は下表のとおりです。

	桜台小学校・桜台中学校（自校方式）	他 12 校（給食センター方式）
開設日	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年4月1日 ※当時の学校給食共同調理場では2校増加分の給食提供ができなかったため自校方式で開設。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月1日 ※平成22年度から12校に給食を提供していた旧給食センターの建替等について検討を重ねて約25億円をかけて新給食センターを建設。
衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 現在の学校給食衛生管理基準を一部満たしていない。 運営面で工夫し安全に提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の学校給食衛生管理基準を満たしている。
配食校	<ul style="list-style-type: none"> 桜台小学校、桜台中学校（それぞれの調理場で調理し、提供） 	<ul style="list-style-type: none"> 12校（桜台小中を除く全小中学校）
配食数 R3.4	<ul style="list-style-type: none"> 桜台小学校 408食 桜台中学校 202食 	<ul style="list-style-type: none"> 5,614食 ※調理能力6,500食
アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー除去調理室なし 卵除去（代替品の提供なし） 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー除去調理室あり 卵、乳の除去（代替品の提供あり）
調理	<ul style="list-style-type: none"> 食数が少なく、配送時間が必要ないので、時間や手間がかけられる。 児童生徒からのリクエスト給食を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 食数が多く、配送時間が必要なので、効率のよい調理が必要。 アンケートなどで児童生徒の声を反映。
食育	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士と共に食育授業(小)…年1回 栄養教諭が家庭科学習の補助(中)…必要に応じて 各学校の「食に関する指導計画」に基づき栄養士と教員が食育指導…毎日 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士と共に訪問食育授業…年1回 各学校の「食に関する指導計画」に基づき教員が食育指導……………毎日
残菜率 R2平均	<ul style="list-style-type: none"> 桜台小 4.2% 桜台中 3.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 16.8% 中学校 16.6%
給食費 (月額)	<ul style="list-style-type: none"> 桜台小学校 4,900円 桜台中学校 5,900円 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 4,500円 中学校 5,300円
調理員数	<ul style="list-style-type: none"> 桜台小学校 8名 (R3.4.1現在) 桜台中学校 9名 (//) 栄養士(小)1名 栄養教諭(中)1名 	<ul style="list-style-type: none"> 42名 (R3.4.1現在) 栄養士 4名
公費負担※	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人当たり 約115,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人当たり 約63,000円

※公費負担とは、調理業務や施設維持管理に係る費用等、市が負担した額を児童・生徒数で割った金額です。（令和元年度決算より算出）

裏へ

②今後の桜台小学校・桜台中学校の給食提供について、次の3つの方式が考えられます。
それぞれの概要は下表のとおりです。

	自校方式継続の場合	親子方式に変更する場合	給食センター方式に移行する場合
方法	・桜台小中学校の調理場をそれぞれ増床・改修する。	・桜台小中学校敷地内に新たに調理場を建設し、2校分を提供する。 ・同校調理場を配膳室に改修する。	・桜台小中学校の調理場を配膳室に改修し、給食センターから提供する。
改修費等	・4億2,000万円程度	・5億5,000万円程度	・5,000万円程度
工期	・8～10ヶ月程度	・7～10ヶ月程度	・1～2ヶ月程度
給食	・改修期間中は調理不可。	・給食提供は継続。	・給食提供は継続。
年間の運営費	・6,600万円程度 ※調理業務、施設の維持管理費及び人件費等。	・5,000万円程度 ※調理業務、施設の維持管理費及び人件費等。 ※自校方式と比較し、1,600万円程度経費削減が見込まれる。	・1,700万円(追加費用) ※桜台小中学校への配送費及び配膳費。 ※自校方式と比較し、4,900万円程度経費削減が見込まれる。
懸案事項	・改修期間中、給食提供の代替策の検討が必要。	・配送車の確保が必要。	・配送車の確保が必要。

※改修費等及び年間の運営費は現在の見込みです。

③市の財政状況と目標値

単位：万円

年度	経常収支比率 <small>注1</small>	市の貯金 <small>注2</small>	市の借金	年間収支 <small>注3</small>
平成29年度	92.3%	26億2,700	202億400	1億1,400
平成30年度	93.8%	26億5,200	217億1,300	▲1億6,600
令和元年度	94.3%	24億1,500	215億1,700	▲1億3,700
目標値 <small>注4</small> 令和7年度	90%以下	20億円以上	190億円以下	設定なし

注1 この数値が高いほど、財政が硬直化しています。次の計算式で求められます。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{毎年使うお金（人件費など）}}{\text{毎年入ってくるお金（市税等）}} \times 100$$

注2 市の貯金とは、使い方が特定されていない財政調整基金の額です。

注3 年間収支とは、実質単年度収支の額です。



注4 目標値は、平成28年度に策定した「白井市行政経営指針」によります。



桜台小学校・桜台中学校学校給食のあり方に関するアンケート

(1) 回答者の年齢

- 10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上

(2) 回答者のお住いの学区

- 白井第一小学校学区 白井第二小学校学区 白井第三小学校学区 大山口小学校学区 清水口小学校学区
 南山小学校学区 七次台小学校学区 池の上小学校学区 桜台小学校学区 わからない

(3) 食材に係わる経費は給食費として保護者が負担し、それ以外の調理業務や施設維持管理に係わる費用は、すべて公費で負担されていることを知っていますか。

- はい いいえ

(4) 別紙を見て、これからの白井市全体の学校給食において、優先すべきと考えるものを3つ選んでください。

(別紙とは、同封の自校方式、給食センター方式を比較している資料のことです。)

- 学校給食衛生管理基準の遵守 手間をかけた調理 残菜の少なさ
 公費負担の公平性 アレルギー対応 食育の充実
 市内均一な給食費 その他

(5) (4)でその他を選んだ場合その内容

(6) 現在桜台小学校・桜台中学校の施設は、老朽化や改正された学校給食衛生管理基準を満たしていないという課題があります。今後どのようにしたらよいと思いますか。

- 「自校式調理場」として桜台小中学校それぞれの調理場を増床・改修する。
 桜台小中学校敷地内に「親子方式（2校分を一カ所で調理）」として新たに調理場を建設する。
 桜台小中学校の給食提供を給食センターに移行する。
 その他

(7) (6)でその他を選んだ場合その内容

(8) 桜台小学校・桜台中学校（自校方式）、他12校（給食センター方式）に関して、ご意見やご要望などありましたらご記入ください。

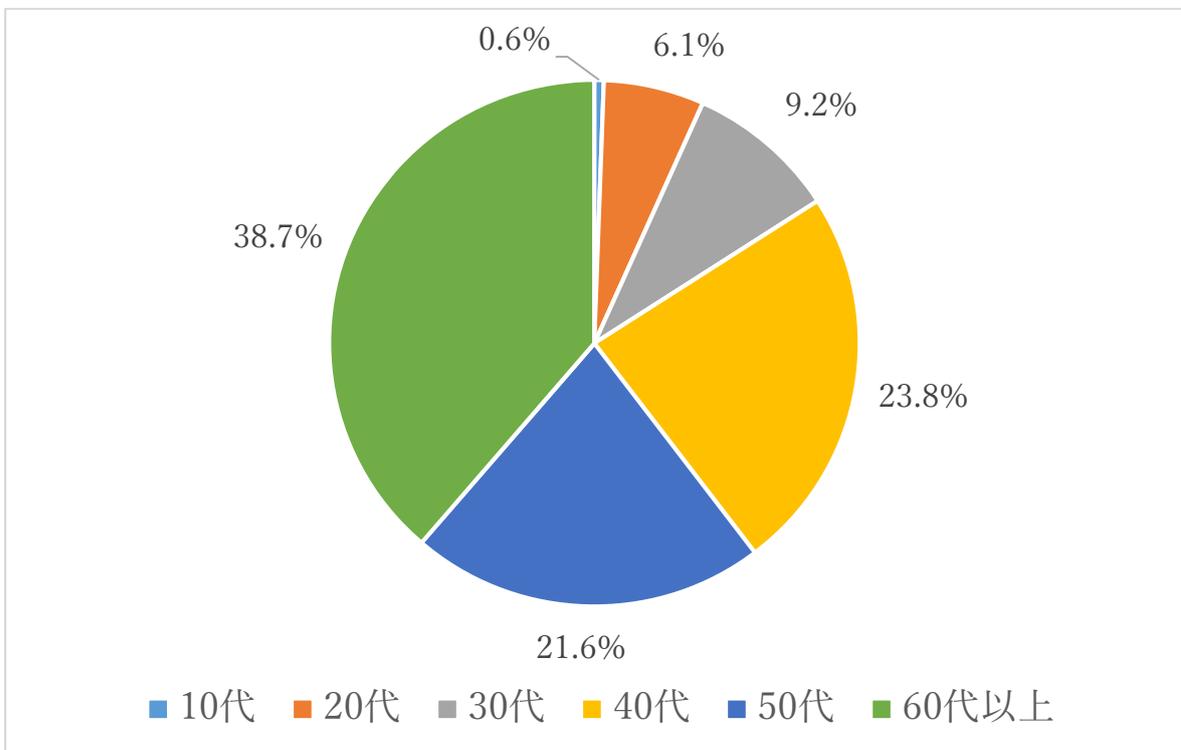
ご協力ありがとうございました。

1 調査概要

- (1) 対象 市民1,500人
(市内在住者無作為に抽出した18才以上78才以下の市民)
- (2) 配付方法 郵送
- (3) 回収数 532通(回収率35.5%)
※統計上、白井市では385通の回答が得られれば、「許容誤差」5%、信頼水準95%の範囲で有効なアンケートである。
※1通無回答、また部分的に回答が無いもの有。
- (4) 実施期間 令和3年7月29日(木)～令和3年8月23日(月)

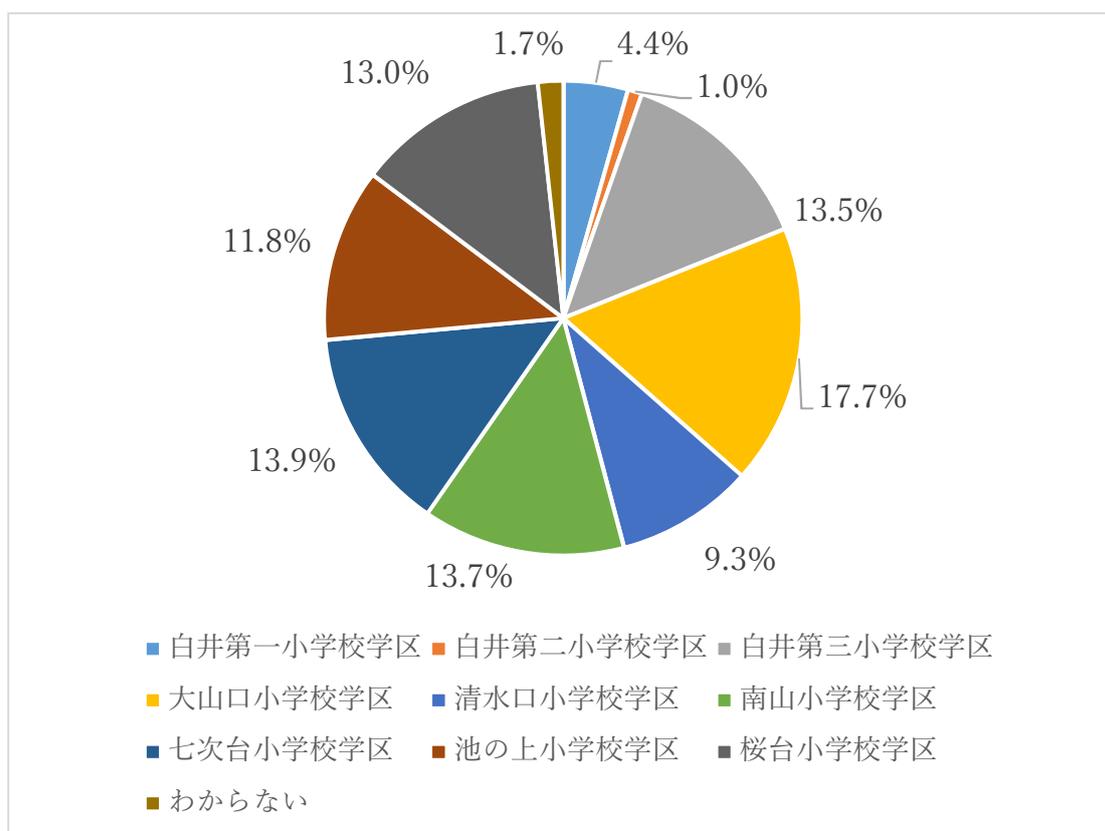
2 調査結果概要

(1) 回答者の年齢



・無作為抽出のため、どの年代からの回答率が高いか単純に比較はできないが、幅広い年代から回答を得ることができた。

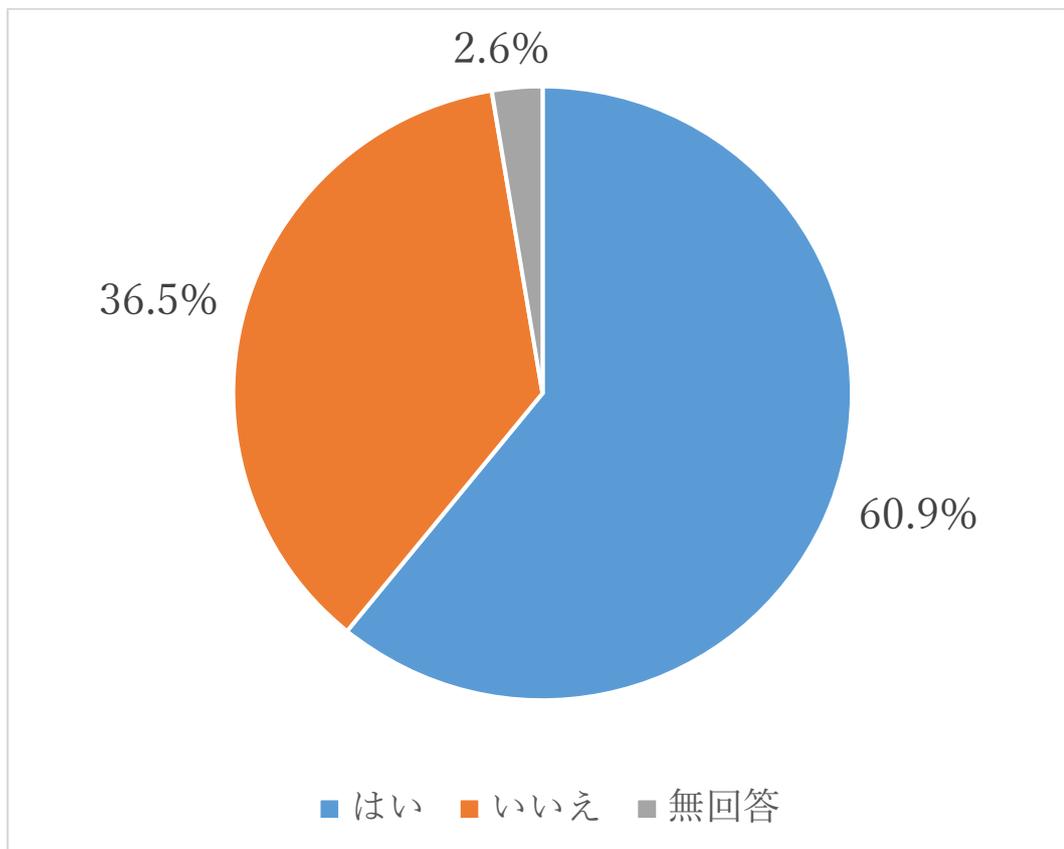
(2) 回答者のお住まいの学区（回収した全アンケートの学区別回収率）



学区名	配付の割合 (%)	配付数 (通)	回収数 (通)	学区毎の回収率 (%)
白一小	4.8	72	24	33.3
白二小	2.4	36	5	13.9
白三小	17.4	261	72	27.6
大山口小	15.1	226	93	41.2
清水口小	10.2	153	49	32.0
南山小	12.1	182	72	39.6
七次台小	17.3	259	73	28.2
池の上小	10.9	164	62	37.8
桜台小	9.8	147	69	46.9
不明・未記入			13	
合計	100.0	1500	532	35.5

- ・アンケートは市内全小学校在籍児童数に対する各小学校在籍児童数の割合を基に配付した。
- ・各小学校区からの回答を得ることができた。
- ・桜台小学校区、大山口小学校区は40%を超える回収率だった。

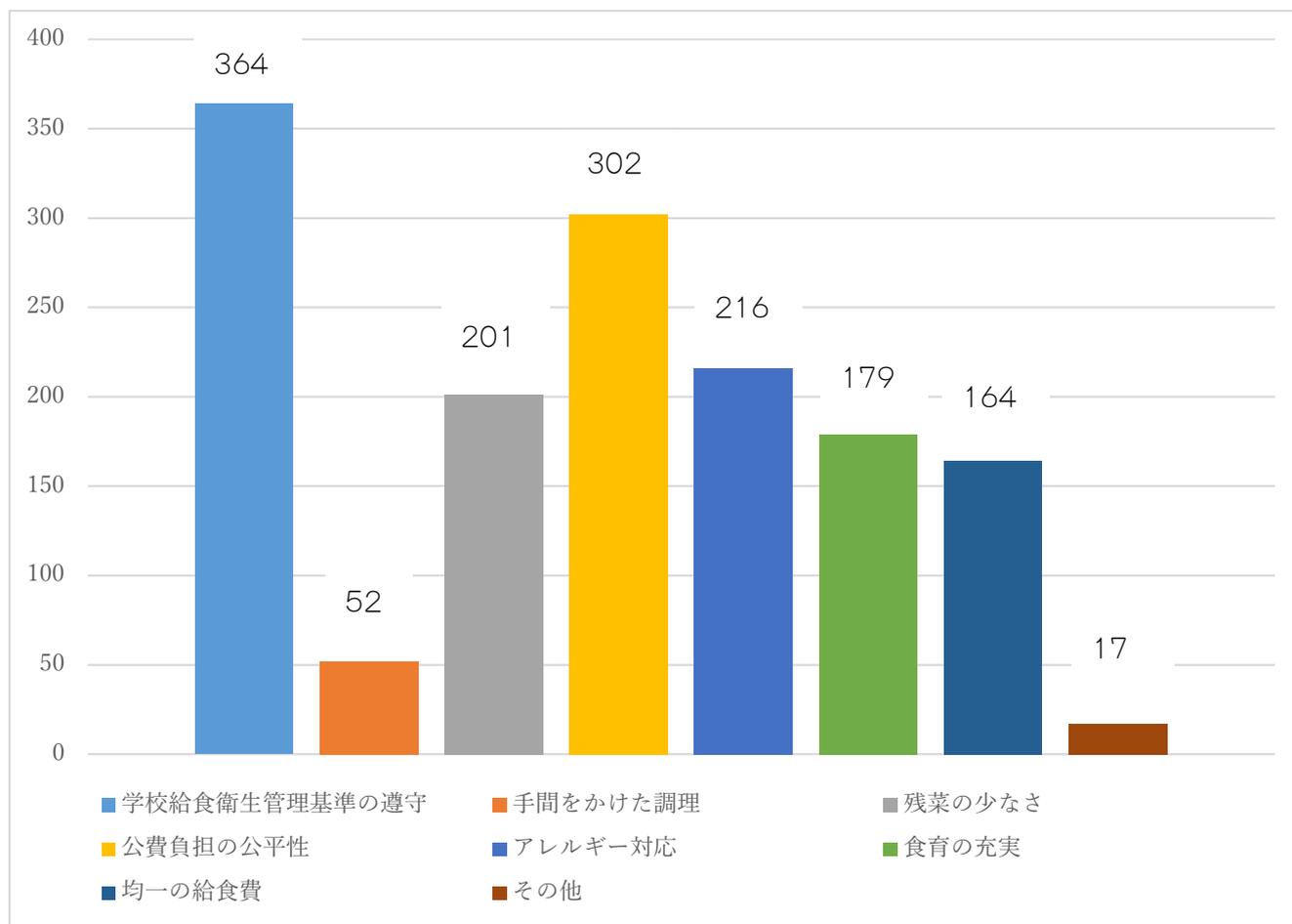
(3) 食材に係わる経費は給食費として保護者が負担し、それ以外の調理業務や施設維持管理に係わる費用は、すべて公費で負担されていることを知っていますか。



・公費負担についての認識を聞いた。結果のとおり、60.9%は知っている、36.5%は知らないとの回答であった。

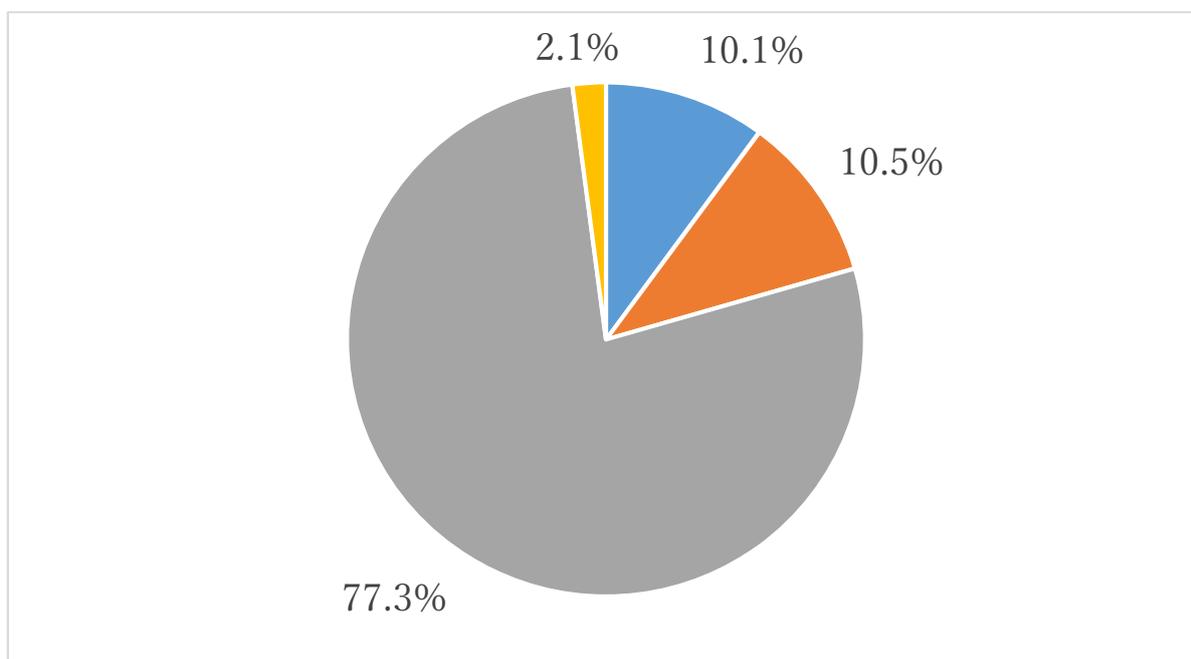
(4) これからの白井市全体の学校給食において、優先すべきと考えるものを3つ選んでください。(3つの回答がないものもあり)

選択票数



•「学校給食衛生管理基準の遵守」が364票と一番多く、続いて「公費負担の公平性」が302票、「アレルギー対応」216票、「残菜の少なさ」201票と続いている。

(5) 現在桜台小学校・桜台中学校の施設は、老朽化や改正された学校給食衛生管理基準を満たしていないという課題があります。今後どのようにしたらよいと思いますか。



- 1 「自校式調理場」として桜台小中学校それぞれの調理場を増床・改修する。
- 2 桜台小中学校敷地内に「親子方式（2校分を一カ所で調理）」として新たに調理場を建設する。
- 3 桜台小中学校の給食提供を給食センターに移行する。
- 4 その他

・「桜台小中の給食提供を給食センターに移行する」が77.3%、「桜台小中学校敷地内に「親子方式（2校分を一カ所で調理）」として新たに調理場を建設する」が10.5%、「『自校式調理場』として桜台小中学校それぞれの調理場を増床・改修する。」が10.1%、その他が2.1%という回答だった。

桜台小学校・桜台中学校学校給食のあり方に関するアンケート（自由記述欄）

（４）別紙を見て、これからの白井市全体の学校給食において、優先すべきと考えるものを３つ選んでください。

【その他を選んだ場合その内容】

- ・楽しい給食。
- ・子供たちから見える、におい、音は記憶に残る大切なものだと考える。五感を使った教育は大切。
- ・現在、社会はどんどん合理性、画一性、経済効果を重視し、本来伝えられるべきものが失われている。その意味で本当の食のあり方を教えることが重要と考える。
- ・安全・安心が第一。
- ・美味しい料理が一番。
- ・味が大切。
- ・おいしさ、温かい料理の提供。
- ・別紙資料で比較検討事項が他にも存在すると思う。他の自治体の給食のあり方も含めて。
- ・娘がなし坊キッチンになってから、野菜に味がついてくるようになり、それが美味しくないのでよく残してしまうと言っていた。個別ドレッシングの方がよい。
- ・衛生第一と考える。
- ・学校給食のみの施設とするのではなく、白井市の台所として様々に活用できるようにすればよいと思う。
- ・地域ごとに特色のある給食がよい。
- ・子供が食べる給食。
- ・確実な理由で特別（個別）料理を提供できることも重要だと思う。
- ・給食費の無償化。保護者負担の軽減。給食費の減額。
- ・味。特に野菜系の味付けが美味しくない。
- ・給食は補助的な食事とし、運営は無理のないようにする。
- ・既存の施設の利用。
- ・税金の節約と対費用効果。
- ・皆が完食できる給食。
- ・差がないこと。
- ・給食は必要ない。

（６）現在桜台小学校・桜台中学校の施設は老朽化や改正された学校給食衛生管理基準を満たしていないという課題があります。今後どのようにしたらよいと思いますか。

【その他を選んだ場合その内容】

- ・どれでもよい。
- ・残菜の少なさは自校方式の方が圧倒的なので継続できたらと思うが、コストがあまりに違うので、３パターンから選べない。
- ・敷地内の新建設で、学校以外の供給もする。

- ・給食費は全てやめて、図書費に回したほうがよい。

(8) 桜台小学校・桜台中学校（自校式）、他12校（給食センター方式）に関して、ご意見やご要望などありましたらご記入ください。

【(6) で自校方式を選んだ方】

- ・この方法が将来的にも安定して充実した食育を行えそうだ。
- ・今までの良さを生かし、今後も続けてほしい。
- ・センター方式は集団食中毒が怖い。
- ・身近に給食を提供してくれる人への感謝の気持ちや仕事の大変さを学ぶことができる。
- ・本来ならば、全学校が自校式ならば良いと思う。公費負担、個人負担等経費は極力抑える。豪華な給食ではなく、バランスの良い食事。食事に対する感謝の心を育てる。
- ・せっかく自校方式の学校に通っていて子供も満足しているので、このまま自校方式で続いていくことを希望している。
- ・次の世代を育てる給食はとても大事なことなので、小中学生が給食を楽しむ時間となるように。保護者の負担が少なくなるように希望している。
- ・自校方式でメニューなど、子供たちが満足しているなら、続けるべきでは。
- ・うちの子供たちは転校を何度か経験しており、白井市以外の3校は全て自校方式だった。自校方式の方が圧倒的においしく、調理をする方々や実施に調理をするところを児童生徒が目にするからなのか、残菜がほとんどなかった。財政的な問題はあるかもしれないが、子供たちのためには自校方式継続を望む。財政に関しては、少子化が進むのに25億円もかけて新しい給食センターを建設したことの方が疑問。
- ・今の時代だからこそ自校給食を進めてほしい。センターの方が効率も良く予算も抑えることができるのは分かるが、毎日口にするものを身近で調理してもらうことが必ず食育につながる。センター方式の残菜率は気になる。この処理にもお金がかかる。
- ・自校方式の小学校、公立保育園に勤めていたが、後になり、公費の関係で民間の業者と半々ぐらいになった。食材に大きな違いを感じた。野菜、フルーツ、肉など全てのランクが落ち、はっきり悪くなった。保護者の負担は大きいですが、自校方式にしてほしい。調理員、栄養士、全ての人が同じ給食費を払っているのか。松戸は全員、無料ではない。
- ・桜台小・中学校の卒業生として、自校方式の給食はこれからも存続してほしい。
- ・自校方式、給食センター方式の給食を両方経験しているが、当時は学校と給食センターが遠く、給食センターはどうしても味が落ちてしまいがちであった。現在は給食センターが新しくなったこともあり、改善されているとは思いますが、桜台小中学校は給食センターから遠く、同様の問題が起こるのではないかと懸念している。桜台小中学校PTAでも自校方式が広く支持されていることから、是非、自校方式を貫いてほしい。
- ・自校給食は温かくて美味しいので改修希望。
- ・自校方式のメリットは多大だと思う。子供たちは小中に通っており、何より給食が美味しかった、良かったという声を聞く。将来のためにも自校方式を継続することを希望する。
- ・できるだけ、在校生の意見を取り入れてほしい。

- 自校方式は調理の過程、匂い、温かさなどを子供たちが直接実感できる。開校時より食育という伝統を守ってきたことから自校方式の給食を希望する。
- 学区外の人にアンケートをとれば、改修費、運営費が少なくてすむ給食センター方式が良いと回答する人が多いと思う。学区内75%の人が自校方式の給食を希望しているのであれば、費用を抑える知恵を出し、がんばってみたらどうか。
- 残菜率の圧倒的な差は自校方式がいかに子供たちの食欲を満たしているかがうかがえる。また、食材の数も自校方式の方がまさっている。1日30品目摂取の面でも優れている。両校で改修する時にアレルギー除去調理場を加えたらよい。
- 桜台小中学校の自校方式の給食は、本当に素晴らしい。せっかく20年もその方式を続けてきたにもかかわらず、無くしてしまうのは非常に残念。今、日本の農業自体がどんどん崩され、海外資本に売り飛ばされ消滅しつつある。だからこそ、地道だが子供たちに食の大切さを桜台小中学校で教えるのは素晴らしいことと考える。財政面で不公平さは確かにあるが、白井市にこのような素晴らしい自校方式の学校があることを全国的にも誇れるように宣伝してはどうか。財政が硬直化し、厳しいのは認識している。白井市の税金の無駄遣いがないか再度総合的にチェックして自校方式に充ててほしい。
- 20年以上前に桜台中学校に通っていた。途中で転校したので通っていたのは1年だが、小学校、他の中学校の給食の印象はあまり残っていない。桜台中学校の給食の美味しさは今でも記憶に残っている。費用などは問題あると思うが、可能であれば自校式調理場を残してほしい。
- せっかく自校方式で設備もあるのに、給食センターにするのは残念。食育の観点からも自校方式を残してほしい。お金には代えられないものがある。今回のアンケートの質問内容は給食センター方式に向かわせようとしているように感じる。公費負担を案に掲げて悪意を感じる。
- 本当にせっかく良いところを無くすのは残念。是非残してほしい。
- 全校自校方式にしてほしい。
- お金のことを言ったらセンター方式がいいと住民に思い込ませようとしているのが見え見え。長年他の自治体で給食のことにもかかわってきた。その結果分かったことは、自校方式がベストということ。災害時にも調理可能ということで給食センターが造られたが。それなら桜台地区に小規模でも2カ所あると良いということもある。
- 自校方式の方が公費負担が大きいのが、残菜率とか教育上、子供の将来のため、自校方式が良い。
- アレルギーのある子供たちへの対応が益々難しくなっていないか。親にとっては自校方式で一人一人に対応してくれるのが一番。
- 白井市全体で自校方式を要望する。
- 今後アレルギー、宗教などにより、完全な一元化は食事の制限でつまらない無難な給食になると考える。自校方式が一つでも残してあれば、センターにとってよい緊張関係や試行の機会となり、魅力ある食育の維持になると思う。
- 毎日自分たちのために給食を作ってくくださる方々の姿を身近に感じ、感謝する心を育てるために、センター方式ではなく、他の12校も自校方式にすることを希望する。次回給食センターを建て替える時に検討してほしい。白井市は「子供たちの食を大切にしている」とアピールすることができると思う。

- 子供が小学校の時に船橋市から転入してきた。センターの給食のあまりのまずさに驚いていた。元の学校に帰りたいとまで言っていた。主食もおかずも冷たく、麺などは固まっているのは普通のことのようだ。センターなどで一括して委託した方が行政としても面倒ではないので仕方がないが、食育が大切と言われている教育行政の中で、えさのような給食を提供する業者任せにするより、たとえ数校でも職員の方の声が届く自校方式を維持した方が子供たちのためだと思う。白井市に愛着をもってもらうためにも、食は大切だと思う。
- ちゃんとした食材を使い、味の分かる子供に育てる。運営費だけで決めてはいけない。
- 以前子供たちが、自校方式の方がおいしいと言っていた。
- 桜台小中の特色である自校方式をぜひ続けてほしい。子供たちへの食育は大切なことと思う。市の財政状況だが、子供たちに関するところを削るのではなく、他に削減できるところがあるのではないだろうか。子供たちは毎日給食を楽しみにしている。
- 知り合いの桜台小学校の保護者と桜台中学校の生徒に聞いてみた。作っている人の顔が見える。温かいものを食べることができる。作っている匂いがしてくる。子供が大好きだと言っている。言うことなし。美味しい。中学校の生徒は、他の学校から「いいなあ。」と言われた。内容も独特、温かいし、美味しい。このことから食育面から考えても、是非自校方式を続けてほしい。食べることは生きること。生徒の一人一人が心豊かに生きていくには、心を支える責任が社会にはある。自分たちの為に一生懸命給食を作ってくれる人が、しかもいつもその顔を知って、声を交わしているその人が作ってくれている匂いが4時間目には教室中に漂ってくる。お腹がすいた、早く食べたい、楽しみだ。きっと私が子供のころ感じたような思いを桜台の子供たちは感じていると思う。横浜ではお弁当が配られるとのこと。これは最低だと思う。以前印西市で給食センター改築の時、別から手配した際、パンにカビが生えていたこともあった。給食はただ単に栄養だけの問題ではない。食べることが嬉しいと心豊かに友達と食べる。誰かが作ってくれて、作っている人の心が感じられる。子供たちは餌を食べているわけではない。美味しくいただいた物が子供の身体をつくり、心をつくっていく。栄養面だけのことではない。大げさに言えば、給食センターの給食も餌を作っている気がする。つまり、そこで一生懸命給食を作って働いている人は、子供たちや先生たちの食べてくれる喜びをあまり味わえないと思う。食育とは何か、今一度考えるべきだ。桜台だけが特別なのではなく、給食自校方式の模範になってほしい。加速化する少子化故に、もっと子供たちの精神、心を豊かにして桜台に住んでよかったとアピールしたい。本当に大切なことにお金をかけるのが、地方自治体の仕事だと思う。白井市なら心豊かに、安心して子育てができると。印西市に人口が偏らず、地道に豊かさを広げていかないと、次世代を支える大事な人材が逃げていくと思う。

【(6)で親子方式を選んだ方】

- 美味しい給食を効率よく供給できるため。
- 桜台地区は子供の数も減ってきているので、小中合同の調理場でもいいかなあとと思う。
- 自校方式に対して問題があるような項目ばかりなので。
- 児童生徒数の人数が将来減少していく場合、親子方式の方が良いかと思う。自校方式より運営費が抑えられる。

- 自校方式のメリットを維持しつつ、公費負担の軽減を探るべき。
- お金の問題も大切だが、おいしい給食は子供たちが喜んで学校に行くという効果があると思う。
- 桜台の給食は子供が喜んで楽しみに学校に通っていた。是非、今までの給食を食べさせてあげたい。
- 現在、給食は児童・生徒にとってただの一食の食事ではなくそれ以上の意味をもつもので、とても大事なものであると思う。単なる空腹を満たすだけでなく、健康を維持してゆったり心の栄養になったりする、といったことや学校から帰った後にどのような食事を選んで食べていくかなど、児童・生徒たちに伝えていってもらえればいい。市の財政状況や公費負担額が不公平といったことはあると思われるが、残菜率からみてもできれば桜台小中学校はセンター方式以外の形にできないか。市役所の建物の費用を削減し、改修できるように柔軟な発想で方法を探ることはできないか。
- 現在の自校方式では、フードロスの最小化、生徒の満足度（リクエスト給食など）が評価できる。また、衛生管理も運営面で確保できているとのことで問題なし。今後とも自校方式のメリットを維持しつつ、公費負担の低減を探るべきだと考える。
- 私自身、自校方式給食で育ったので、子供もそうしてあげたい。桜台小中学校にそれぞれ子供が通っているのだから、同じ給食の思い出を残してあげたい。
- 桜台小中学校PTAアンケートと同じで、自校方式の存続に賛成。理由は自校方式の方が作っている美味しそうな匂いがして、給食が楽しみになる。あと、作りたてが温かいうちに食べられてよい。センター方式だとメニューの幅が決まっているし、どうしても冷めてしまって楽しみがない。
- 桜台小中学校の自校式給食は子供たちが健全に育つために大きな役割を果たしていると思う。小中学校が一か所で調理する親子方式でもよいので存続を望む。
- 給食を食堂などで食事するように検討してはどうか。教室などに余裕があるのでは。給食センターもいずれは老朽化する。災害等の時、給食室は残した方がよいと思う。総合的に考えて決めてほしい。
- 子供にとって安全なおいしい給食を実現してほしい。当該PTAのアンケート結果が尊重されることを望む。
- 桜台小中の卒業生たちは同じ施設内で自分たちの為に給食を作ってくださる調理員さんの姿を見てこられたからこそ、食や健康への関心が高いと思っている。まさに「生きた食育」を受け続けることができたからこそ、その知識を今も、これからも生かすことができる。若いうちから食育はその後の人生に関わる大切なもの。衛生基準をクリアした上で自校式の存続を希望する。
- 子供たちが習志野市の自校方式で育ったので、メニューも豊富で給食を喜んでいて。時々保護者も試食会があり、いつもこんなメニューで食べているんだ！という安心感があった。
- 資料不足、説明不足、比較不足。行政はどう考えているのか基本的方向性、指針は？桜台地区の人口推移予測、発展・開発の可能性は？1枚のレジメで意見賛否？を求めるのは疑問。アンケートを住民に求めたなら、結果を通知せよ。
- できれば全ての小中学校での自校方式が望まれる。家庭と同様に食は身近で作られ、それを子供たちが実感し、「今日は何だろう。」と食べることへの関心をもて、楽しみや食欲にも通じ、おのず

と残菜率の低下になると思う。現在テイクアウト、出前などが多くなっているが、給食まで配達されてくるといことはいかがかと懸念したい。

- お金の問題も大切だが、美味しい給食は子供たちが喜んで学校に行くという効果があると思う。給食が食べられないので学校に行きたくない、ということが起こらないように、我が南山小学校、南山中学校にも、是非自校で作る温かく美味しい給食を提供してほしい。
- 自校方式の給食は家庭で作るようにとっても美味しい給食だと思う。経費は多少かかるが、節約はその他の予算から行い、子供たちへの予算はかけて、良い教育をしてあげてほしい。
- 残菜率については自校方式ではかなり少なく、自校方式のよさが分かる。一方で公費負担については、給食センターとの差がとても気になる。差をできるだけ少なくするよう見直しが必要かと思う。
- 給食センターがだめとは言わないが、何でも一律で生徒の希望に沿っていないと思う。残菜率を見れば、受け手の子供たちにとって何が良いことなのか分かる。子供ファーストに。公費負担、目先を変えているだけで出す必要なし。集合調理でも各校調理でも負担合計は一緒。むしろ自校方式で対応していることをPRしてほしい。学校を選ぶ上での決め手の一つになる。
- この機会に「親子方式」の新たな調理場を建設し、白井市の福祉的資源とすることが良いと思う。PTAの方々が独自の給食を希望しているのならばそのようにする意味がある。これからは防災の資源設備として活用することも念頭に置きつつ、新しい発展的な形を考えることもできると思う。
- PTAアンケートの自校方式の存続希望の要望書が出されたことは児童・生徒の要望でもあると思う。給食センター以外で検討してほしい。
- 桜台小中学校だけではなく、全ての公立小中学校を自校方式にした方が平等である。松戸市では全ての公立小中学校が自校方式であるので、まねるべきである。そうすることで、残菜率削減につなげていきたい。以上から桜台小中学校が自校方式の先駆者になってほしい。
- 他市で教職員をしている。勤務校ではセンター給食だが、自校方式との比較はよく話題になる。残食量の差、栄養士さんの存在が大変大きいと聞いた。難しいところもあるのはもちろん分かっているつもりだが、子供のためを第一に考えるのなら自校方式が理想なのだろうと感じる。
- 桜台の自校給食はそれを目的にこちらに引っ越してきたという声を何回も聞いたことがある。正直、白井市に引っ越してくるメリットはほとんどゼロに等しい中、数少ない白井市の売りになっていると思う。
- 自分自身が自校方式の給食で育ち、とても美味しく楽しい思い出がたくさんある。我が子にも是非自校方式給食で育てほしいとの願いもあり、桜台地区に引っ越してきた。来年桜台小学校に入学する。是非このまま自校方式の給食を続けてほしいと願う。
- スタッフの皆様の姿を見るのも食育だと思う。また、食品ロスの問題も大切だと感じる。給食は一生忘れない思い出だ。美味しく食べて人間を作ろう。
- 子供たちに安全安心な給食、美味しい給食が提供されることが望ましい。
- 温かいものをすぐその場で提供できるのはとてもありがたいことだと思う。七次台小中も自校方式だったら残菜も少なかっただろうと思う。
- 給食はいつも楽しく食べたいものだ。楽しく食べるようになれば、残菜もなくなると思う。

- 自校方式の給食は、栄養士と子供たちの触れ合いや対話もある。温かい食事、心のこもった食事・給食が望ましい。冬、温かいスープ、味噌汁が食べられる幸せがある。お金よりも心だ。
- 子供に最善の選択をお願いしたい。
- センター方式は画一的で合理的かもしれないが、子供たちにとってはどこかで作られ、運ばれてくる感覚しか分からないと思う。自校方式だとお昼に校内で美味しい匂いがたちこめ、作る人の御苦労、喜びなどが伝わり、残菜も少なくなるのではないか。
- 子供が食べてこそ給食だ。食べない給食を作り続けるのは税金の無駄だと思う。自校方式の給食を続けるべき。安心・安全の上で美味しい給食をお願いしたい。
- 画一的なやり方をするべきではない。予算と公平性だけを考えれば全てセンター方式にすることになるのだろうが、最も大切なことは食育ではないかと考える。まずいから残菜が多くなるのであり、食材を安易に廃棄することに慣れれば健全な人格が育たない。運営費をカットするために、ボランティアを活用できないだろうか。
- 白井産の野菜を使っているということなので良いと思う。
- 給食センター方式は正直美味しくなく、2校だけでも自校方式なのは素晴らしいと思っている。公費についてはもっと削減すべきところがあるのではないか。子供たちから美味しい給食を奪わないでほしい。
- 率直に、どちらの給食を食べたいかと聞かれたら自校方式。設備に高額のコストがかかることは仕方がないこと。新しい設備・器具を物持ち良くすることに考えを変えてみてはどうか。子供たちのことを思えば、自校方式は続けていくべきだと思う。
- よく温かい給食を食べさせてあげたいからという理由で自校方式を好む声を聞く。正直どの方式であろうと子供たちが配膳しているので食べる頃には冷めていると思う。ただ、センターよりも時間や手間がかけられるメニューが食べられるのはとても良いと思っている。
- 他市で給食調理に携わっているが、調理員の数が多すぎると思う。調理員1人につき120食の計算で十分かと思う。別紙を職場で見せたところ調理員、栄養士共に驚いていた。
- 自校方式があるため、他市から白井に転居した方がいるということを知ったことがある。地域によって運営内容に違いが出て良いかと思う。自校方式・親子方式という特色を残す方法に賛成。

【(6)で給食センター移行を選んだ方】

- 給食センターを対応可能なように整備している以上、給食センターで対応するしかないと思う。
- 白井市の前に住んでいた地域では自校方式だった。子供は給食が美味しいとよく言っていたが、給食センター方式は大量に作るせいもあるのかよく残っていた。自校方式が理想だが、費用を考えると給食センターへ移行がやむを得ないのかと思う。
- 市の財政状況を勘案すれば、給食センターに移行し、費用の削減、人員の効率化を図るべきだと思う。
- 老朽化施設を衛生管理基準法を満たすように改修するより既存の給食センターでの提供の方が合理的であると思う。自校方式の方を望むことは当然であると思うが、他方給食センターがあるのだからそちらを利用の方が公平性からいっても当然ではないだろうか。給食センターのメニューにも工夫して残菜を減らす努力は必要である。

- 理想は自校方式が望ましいと思うが、現実には公費等が厳しい。
- これ以上の給食施設への公費負担は、白井市民の公平性に反すると考える。
- 公費負担が年間一人当たり50,000円もの差が出ているのは大きすぎるのではないか。また、給食費が学校により負担額が違うのであれば家庭の負担が大きくなる場合もあるので、全校給食センターでやるべきではないかと思う。自校方式、親子方式にする場合、アレルギー対応をしっかりできる対策を。
- 桜台地域は今後も人口増が見込まれる。将来的には財政や安全面を考え、センターへ一本化すると良いと思われる。
- 桜台は給食センターに移行するべきだとは思うが、その前提として給食センターの残菜率の改善が必要。子供たちの声としても、新しい給食センターに移行してから美味しくないと、前の給食センターの方が美味しかったと聞いており、その改善をしないと残菜率は下がらないと思う。
- 給食センター方式に移行し、効率と公費負担の無駄を省くべきだと思う。
- 桜台小中学校でのこれまでの優位点を全市内に波及することを考えるべきであり、桜台小中の対応のみで考えるべきではない。市内の子供たちがより良い方向に向かう対応策を検討いただきたい。
- 約25億円かけて立派な給食センターを建設したので、白井市内全小中学校に提供した方が良いと思う。桜台小中のみ自校方式にすると改修費がかなりかかるし、給食センターを設立した意味がなくなるのではないか。一番出費が少なく、平等な給食費になると思う。
- よくわからないが、なんで残菜率がこんなに違うのか。美味しくないので、贅沢になっているのか。わからないが、同じ市内で不公平だと思う。公費で負担している額が約倍になっている。何か甘い感じがする。市内統一した方がよいと思う。この際、人件費等の削減もあり、桜台の職員の意見も聞き、合同で考えて残菜率が少なくなるようがんばってほしい。
- 桜台小中学校の自校方式は、改修費、運営費を考えると廃止すべきなのは明白である。
- 改修費、運営費とも少ない方が望ましい。
- 改修費等の差を見ると、不公平感を感じる。運営費にも差があるということは、今後ずっと桜台だけ特別扱いが続くということ。自校方式の方が良いという問題ではない。給食センター方式がダメなら、他小中の子供たちはだめになるのか。桜台の特色のために多額の税金を自分たちの子供にだけ使う特権がなぜ桜台にあるのか。不公平だと思う。白井市の財政は豊かではないのだから。
- 桜台小中学区の方々が自校方式の存続を希望している気持ちも分かるが、衛生管理基準やアレルギー対応の面、今後の少子化等の背景も鑑みると、給食センター方式に移行するのが良いのではないかと思う。三小でお世話になっている息子は、毎日の給食をととても楽しみにしている。日々美味しい給食を提供していただきありがとうございます。
- 時代が違って個性的なことの価値は重くなったが、市民の税金を使うのはやはり公正平等が一番目と思う。個別の考えがあればその集団の力と財力で実現すべきと思い、皆の税金と財力を使うのなら、皆のやり方すべきと思う。
- 同じ市内の学校なので、統一するべきである。給食センターでの調理能力数を考えると、新たに造るべきではないと思う。せっかく立派な施設を造ったのだから。
- 給食センター方式が良いと思うが、残菜率が高いのが気になる。原因をきちんと確認する必要がある。

あると思う。

- 継続可能、少子化を考えると、自校方式の継続はあり得ないと思う。
- 給食センターの残菜率が多いのはどのような理由か。最近極端に肥満、痩せ細り等があると聞く。コロナ禍の中で家庭での食事が満足に行えないことも考えられる。学校給食はそれなりに充実した物でありたい。別紙から1食当たりの食材費が見えない。給食費の内訳が欲しい。
- 市内全校を給食センターに集約することで公平になるし、公費を食育の充実にあてることができると思う。逆に桜台だけ別だったことを知らず、何のために新しい給食センターを造ったのか、無駄だと感じた。
- 同じ市内で給食の内容に差があるのは違うと思う。公正公平な対応を求める。
- この際、給食センター方式にした方がよいように思う。
- 自校方式継続後も公費負担の公平性などを考えると、改修費などは他のことに使うべきだと思う。今後桜台地区の児童数、また現在の配食数を考えると、改修するメリットがあまりないと思う。また、2割強の方も継続を望んでいないので、その現状も考えるべきだと思う。
- 個人的には自校方式が作っているところが身近にあるので望ましいが財政面や公平性、給食センターが桜台にも近いことを考えると、給食センターに移行すべき。
- 給食センターがあるのに、使用しないのはどうなのか。自校方式では特に多くなっているアレルギーの子供たちに、安心して対応できるか心配。子供たちのリクエストや残菜等は今後検討していけば良いかと思う。
- 給食センターで作られた物を試食したことがあるが、配送された物は冷めているのか、まずいのか、と思ったが美味しかった。改修費、公費負担を考えると2校も給食センターで提供すべきだと思う。同じ児童なのに、市内で多額な差が出るのはおかしいと思う。反対されている方に一度給食センターの給食を食べてみてほしい。美味しい。
- 市内で給食費の負担に差をつけるべきではない。逆に今までなぜ桜台小中学校だけ自校方式だったのか。非常に疑問をもっている。タイミングがあれば情報公開をお願いしたい。
- 改修費が莫大にかかることから、自校方式を続けるメリットがないように感じる。私自身は給食センターの食事だったが、十分美味しく、栄養バランスがとれていたと思う。ただ単に桜台地区の特色だから、という理由での自校方式の存続は公費負担の面からみて不公平なのではないか。どうしても続けたいなら、桜台小学校・中学校内で金銭を負担するべきではないか。
- 給食センターも新しくなり、有効に活用すべきで、公費負担は少なくするべきだと思う。
- 残菜率の差の原因が気になる。味なのか、もともとの量なのか、残菜の少ないメニューにしているのか、など。
- 桜台小中学校が他12校に比べて多くの公費負担がされていることを在校中の保護者は知っているのか。公平性があまりに偏っていると思う。何よりも安全な食事を提供する為にはアレルギー対応、衛生管理は最優先事項だと思う。
- 全体のバランスを取ることも大切だ。
- 桜台小・中学校を自校方式とする理由がよくわからない。桜台小・中学校の児童生徒一人当たりの公費負担が他校に比べ大きすぎる。自校方式とするのであれば、公費負担を小さくするべきと思う。

- 日本の学校給食は、世界に誇れる文化であると思う。それぞれの立場で給食の場を支えてくれているスタッフの皆様方には感謝をしている。このアンケートが最善策を見つける一助になれば幸いだ。
- 桜台小・中学校には、アレルギー除去調理室もないという事で、今はさまざまなアレルギーの子供が増えていて、他の12校がセンター方式にしているならば、全てをセンターにまかせた方が良くと思う。市の財政を使い修繕を行うのであれば、一番改修費のかからない方法でしかも2校だけ自校方式を残す意味はあるのか？4900万円も経費削減ができるならば、その方法が一番良いのかと思う。改修中の給食の代替案はお弁当になり、親の負担も増えるため、センター方式に代えたらいいのではないかとと思う。
- 公費負担に差があることにおどろいた。更に調理場の増床・建設となると負担が増えるので給食センターにまとめてほしい。
- 桜台地区の児童数が今後どう変化するのか知りたかった。
- 手間がかけられる分、桜台の給食はおいしいと聞く。味と残菜の少なさについては考えてほしいと思う。しかし市の財政状況を見た場合、給食センターに移行するのがよいのかと思う。
- なぜ桜台だけ特別なのか。自校方式が良ければ全ての学校を自校方式にするべきで、それができないのであれば、すべて給食センター方式でよいのではないかと。桜台だけ特別にする理由があるのか。
- 給食センターの能力でまかなえるのであれば、費用の面において市内で差をつける必要性を感じない。その代わりに人員を増やし、食育の充実や残菜率の低下を目指したメニューづくりなどに対応できたらより良いと思う。
- 衛生管理の徹底。
- 自校方式で作れるのが1番良いかと思うが、他12校との公平性、工期、経費を考えるとセンターに移行した方が良く思う。うちの子はセンター給食だが、おいしいと言っている。あと衛生第一！
- 本当は自校方式が良いと思っていたが、市の財政状況を考えると改修費用の少ない方がよいかと迷った。
- 公費負担の児童1人あたりの金額の差におどろいた。税金のむだ使いとしか思えなかった。
- 公費負担は公平にお願いしたい。今後の事を思うと、自校方式でとなると自己負担が大きくなると思う。それでも自校方式でとなったら・・・給食センターは白井児童生徒をまかなえるだけの配食数があるのだから給食センターを希望する。
- お金を増床・改修にかけるより、どの家庭にも安心して安価で給食提供できれば不況で家計が苦しくても助かるのではないかと。給食が栄養源になっているというニュースを見たことがある。
- 市内児童生徒の給食は平等であるべきと思う。一人当たりの公費負担はあまりにも差がありすぎ、さらに改修費4億円から5億円というお金をかけることが(税金)桜台小中PTAの要望と言えどもありえない。給食センターで対応できるのであれば、センター方式で運営するべきだ。市の財政状況も良く考え、市のお金は本当に必要な所に使っていただきたい。自分のお金だとしたら・・・台所はひとつで良いと思う。このようなアンケートを実施することも大変だと思う。別記の表記も、とってわかりやすくありがとう。コロナ・猛暑の中、ありがとう。ご自愛の程。

- 清水口小も七次台も選ぶことはできなかった。桜台だけすらい。自校方式でよそよりかかる費用を桜台の方たちが負担するなら別にかまわないが。
- 単純で一番費用がかからないものを選択した。
- 「自校方式」「給食センター方式」方法だけを見ればどちらでも良いと思う。しかし、全ては費用の問題であり、「公費」となる「お金」に白井市民が納めている市民税も含まれていることと思う。そのお金をもし自校方式にするとして、今後も同じように「負担金」として使われ続けるのには疑問を感じる。” 今後も特別？” と感じてしまいそうだ。「地区の特色としての存続希望」との要望があるそうだが、気持ちは分かるが、では、その工事費やその後の運営費としての「公費負担」についてはどう思っているのか。更に、万が一他の学校からも「自校方式にしたい」と要望が出たら、市としてどうするのか。しかしながら、地図を見て、桜台小・中が他の学校からかなり離れた所にあることを知った。では、給食センターはどこにあるのか。費用を考えると「給食センターに移行」して頂きたいが、このセンターも離れているならば、配送時に美味しさを保てる工夫が必要かもしれないと思った。「一長一短」で判断が難しいかもしれないが、公費・市のお金はなるべく公平に使って頂きたい。
- 市の財政が苦しい中、また平等性の観点からも他の校区と同じ給食センター方式にするべきだ。なお、給食センター方式では、残菜率が高いことが問題と考えられるが、これは桜台小・中の対応とは別に全市の小中学校の子供のために調査・改善すべきだと思う。
- 自校方式は理想だ。しかし給食費を見て市内均一でないならば、給食センターで統一した方が良いかと思う。
- 平成31年に巨額な公費で給食センターを設立した。また、この施設の調理補助・栄養士等の求人までしている。桜台小・中学校の調理場改築や調理スタッフの雇用にこれ以上公費を使うのは如何なものかと思う。給食センター方式に移行するのが普通の考え方ではないか。
- 費用・衛生・アレルギー対応を考えると給食センター方式が良いと思う。ただし、残菜率の高さが気になるので子供の声を取り入れたり、足立区のような他地域での工夫を参考にしたりするなどして改善してほしい。
- 新しい衛生的な給食センターができたし、白井市の収支も考え、アレルギーに苦しんでいる子供たちの為にも、アレルギー対応のできているセンターに移行した方が良いのではと思う。
- 17年間にわたって、大山口小・中学校で給食をいただいているが、桜台の自校方式給食にこれだけ公費負担が使われていることを初めて知った。不公平だ。別紙を見る限り、給食センターの調理能力で十分な供給ができること、アレルギー除去にも対応、また、自校や親子だと改修費等に多額の費用がかかるため、桜台も給食センターに移行すべきだ。
- せっかく公費で設立したすばらしい給食センターだ。経費節減のためにも全て同一で調理する方がよい。
- 市内の学校で特別数校にお金をかけることは不公平に感じる。他の学校に通う保護者にも、いろいろな思いがあると思う。この機会に市内統一にした方が良いと感じる。その上で、残りが出ることなど工夫したら良い。
- 公費負担が公平でないということが理解できない。完全に不公平ではないか。
- 温かい物は温かく美味しく。冷たい物は冷たく。バランスのとれた残す（残菜率）ことの少ないお

おいしい給食をセンターが提供できれば公費負担も少なく桜台の方々も納得するのではと思う。

- 市内に新しい給食センターがあるのだから改修せずに市内全部給食センターで作るようにすればいいと思う。
- 公費は公平に使い、節約した方が良い。
- 何故？特色として残す必要があるのか。自校方式でないと駄目な理由がよく理解できない。
- 給食センターが新しくなり、桜台地区にも近くなったことだし、地元の清水口小より近いのではないか。経費、運営費をみても削減、節約できるのだから、給食センターで一括調理するべきだと思う。義務教育修了の2人の子供がいる。下の子の小学校時代、学校行事も減らされ、学校、クラス運営、方針など市内で均一されてきていると感じていた。桜台だけ給食の独自性を主張できることが理解できない。削減した経費を市内全体の小中学生のために使えば、桜台の人たちも納得できるのではないか。
- 桜台在校生の保護者が自校方式存続を望む気持ちは分かるが、昨今の状況で市の財政が思わしくない中で2校600人のためだけに5億前後のお金を使うことは現実的ではない。建て替えや新設に伴い、給食の提供が止まったり、その期間だけ配送車が必要になったりということを見ると、初めから費用も負担も最も少なく済むセンター方式に統合が唯一の方法と考える。
- 桜台地区のみ自校方式というのは学校の特色かもしれないが、公立学校なので市内で統一して公平にした方が良くと思う。節約できたお金で、教室の机や椅子を新しいものに入れ替えてあげたらどうか。
- 市内全小中と桜台中中の児童、生徒の推移を含めて検討すべき。減少が予測されるのであれば衛生管理面は当然のこととして、効率面からもセンター移行が望ましいと思慮。但し、他の自治体の状況は不明だが、センターの残菜率が高いのは非常に残念だ。引き続き検討をお願いしたい。
- コストが安く済む給食センター方式に賛成する。
- 理想としては自校方式が良いが、老朽化が問題ならば、改修するよりも給食センター方式に統一した方が良くと思う。
- なぜ桜台小学校、桜台中学校だけが自校方式を続けてきたのか分からない。同じ白井市民平等にするべきだ。
- 税金は地域に平等・公平に使ってほしい。桜台地区に住んで長いですが、市の恩恵を受けたことがない。駅の駐輪場、テニスコート等不公平だ。桜台は印西市にしてほしい。
- 子供にとって給食は毎日の食事だ。まずは安全であり、安心したものでありたいと子育て時代には痛感してきた。また、金銭面においても親にとっては低額になればありがたいものだ。また公費負担額もできるだけ抑えていくことも重要課題だ。ただし、給食のメニューにはもうひと工夫必要かと考える。
- 学校給食の自校方式かセンター方式かはそれぞれのメリット、デメリットがあるので議論しても結論がでるものではないと思う。現在自校方式の学校からすれば変わらず自校方式を要望される気持ちは十分理解できるが、新しいセンターが整備され調理能力に余力がある状況、市内全体で考えたときの公平性(たしかに給食費は少し高く支払っているが)と財政面での比較を考えると、センターに移行することが現状では妥当であると考え。食育や食事のあたたかさとか要望にあわせた献立とか保護者の方を中心に要望は多くあると思うが、生活の中で他の2食(朝と夕ご飯)

は家族で食べるのが普通なので、家族でおぎなえるものではないかと思う。(子どもによっては給食が唯一という家庭環境もあるかと思うが、それは別問題として)ただ、資料の中で残菜率が17%近いというのは気になった。今後改善していただくようお願いする。

- 自校方式の給食というのやはり絶対おいしいと思う。しかし、人員や市の負担というものがあるならセンターでもいい気がする。あとはアレルギー対応の設備が自校方式にはないのは怖い。私なら給食費は安くあってほしいという願いもある。
- 一部とはいえ基準を満たしていない給食室で給食を作っている現状を、少ない改修費で解決し、不公平さや安全性を一日も早く均一化した方が良いと思う。桜台だけ時間や手間をかけた給食を食べていたことが残念。施設は別でも市内一緒に給食にできたはず。公費負担も桜台の方が高い。不公平なことが平成6年から行われていたのを知って残念。ぜひ、公平な「食」の提供をしてほしい。
- 衛生やアレルギー対応は何よりも大切と思う。
- センターから遠い学校への運搬に(事故、食べ物の味変化等)に十分考慮して欲しい。
- 市の財政状況が悪い中、無駄な支出はさけるべきと考える。私立の教育でない以上、公費負担の公平は守らなければならないと考える。
- 私は桜台小・中学校だけ自校方式での給食だったことを今知り、なぜそこだけ自校方式だったのか、少し不公平感を感じた。また、年間の収支が約1億5000万円の白井では、約5000万円の削減は大きいと思うので移行した方が良いと思う。
- 市の財政状況を見れば、現在の自校方式を継続する理由はないと思う。
- 市財政の経費削減は進めるべきで、その一つの項目と考える。何事にもメリット、デメリットはある。
- 保護者への説明を十分に行って欲しい。
- 当アンケート、桜台小中学校の給食をセンター移行への理由の一つになるかも知れないが、このような事は当事者(市役所と担当校区)で十分話し合い納得してすべきもので、アンケートは「？」がつく。
- 桜台の方が自校方式を希望されることはよく理解できる。出来るのであれば全ての学校で自校方式が出来たら…とも思う。しかし、市の財政などを考えると難しいのが現状である。給食センターも新しくした今は、この施設を最大限に利用してほしいと思う。
- 桜台小・中だけ給食センターではない。老朽化していることを初めて知った。せっかく新しい給食センターができたのだから、給食センターで桜台の分も作るのが自然だと思うし、そのつもりで新しい給食センターを新しくしたのではないか？
- 子育て時代は旧給食センターで、だいぶ前の話なので新給食センターに期待しての統一でいかがか。
- 児童生徒一人当たりの公費負担が倍近く違っていること、給食センターには桜台小中学校の調理をまかなう能力が十分あることなどを考えると桜台小中学校の調理室を新しくつくるなど市の財政をみてもありえない。自校方式がおいしいとか特別感があることはよく分かるが、子供は学校を選べない。教育にかかるお金は平等に使われるべきだし、桜台地区の特色を大事にするという理由では市民は納得しない。白井市の給食にはもっともっとがんばってもらいたいと思っています。

たが、(子供は大山口小だった)何より大切なのは安全と平等なのではないのか。桜台のPTAの方が給食を自慢されていたことがあったが、他校のPTAはよい気持ちにはなれない。

- 桜台小中学校だけ自校方式ということを知り初めてショックだった。市内の住んでいる地域によって差をつけるのは、他12校の子供が可哀想だと思う。
- 桜台小中出身で、当時自校方式で子供ながらに特別感があり、毎日まだあたたかい給食が食べられておいしかった印象が残っている。しかし、大人になった今、考えると自校方式の維持・改修にお金がかかるのであれば、それを給食センター方式にまわして、食育の充実、公平性を図って欲しいと思う。
- 平成31年に給食センターを建設してもらった。我が子の学校でも給食センターの給食を提供してもらっているが、満足しているようだ。費用や衛生面を考えると今ある給食センターでの提供にして、白井市内全体で利用する方が良いと思う。白井市民の財産でもあるので他の事に使ってほしい。
- 税金は公平に使うべき。新給食センターが建設され、給食提供ができる。一部のエゴ。みんな自校方式がいい。しかし、市内全体が出来ないなら、公平に給食センターに移行すべきである。税金は公平に使ってほしい。市内全校に桜台小・中学校PTAアンケートと同じようなアンケートをとると、同じようなパーセントで自校方式を希望する。
- 私も昔、我が子が自校方式の給食で大変良かった事を思い出した。だが、公費負担の公平性などを考えれば、桜台小中学校だけ特別扱いは良くないと思う。白井市は全員給食センター方式にする。これが一番良いと思う。
- 残菜が少ないことから、きっとおいしい給食なんだろうと思う。でも、同じ市内の小中学校で、桜台だけが特別という時代は終了では。給食センターで早くておいしい給食を提供していただく工夫をお願いしたい。
- 桜台地区の意見として継続したいというのは理解できるが、金銭の負担については考えてほしい。また、今後桜台地区で子供の数が増加する可能性はあるのか、というのも判断のポイントである。土地はあるので、住宅地がどのくらい予定されているのかがポイントである。
- アレルギー対応や学校給食衛生管理基準も最新の基準を満たして出来た給食センターなので、桜台小中学校もセンター給食に移行した方が安全なのは。改修費や運営費的にも得策かと考える。
- 今後あらゆる社会保障費用は増加する一方だと思う。このような社会状況の中、一部の地域のみ多額の運営費をかけることは許されないことだと考える。
- 以前、新給食センターへの移行の際は私たちの小中学校も自校方式にしてほしいと思った。自校方式自体はよい方法だと思う。しかしながら、今回の資料を見て、給食費は大差ないのにもかかわらず、公費負担がこんなにも差があるのかと驚いた。新給食センターも25億かけて建設したわけだし、市の財政、公平性の面からもこのセンターに統一すべきだと思う。
- 給食センターに移行しない理由が分からない。改修費等に係る費用の一部で、高齢者、児童向けの公園の設備、遊具等の充実を希望する。
- 美味しい給食として、自校方式の方が子供たちが希望しているのが分かる。改修費、年間の運営費などを見れば、給食センターに移行することが一番だ。平等だと考えられる。立派なセンターも建てられ、桜台の方たちには残念だが、同じ市民で子供たちの給食が違うのはおかしいと思う。

- 自校方式は残菜も少なく、恵まれた方式ということにはなるが、他校も皆過去あきらめてきた。だから、公平性と市の財政を考えてほしい。これから災害も増え、いつもっと大変な時代になるかもしれない。もうすぐかもしれない。財政も厳しくなるかもしれない。こんな時代に自校方式を未だにしていたなんて対応が遅れていると思う。池の上小学校でも過去に検討され、給食センターへと移行されたが、皆贅沢しないことも教育の一つと親自ら覚悟した経験がある。今のお若いママたちは少し恵まれた時代にお育ちになられている方も多いのかもしれないので、子供たちの時代、未来を案じて少し給食内容くらいは耐えてほしい。がんばりましょう。
- 学校給食の方式が変更されても桜台小中学校の残菜率、食育のレベルが下がらない工夫と、他の12校の残菜率、食育のレベルが向上すると素晴らしいと思った。
- 給食センターの移行案に賛成だが、桜台地域の人々でクラウドファンディング等を行い、公費以外で改修費等をまかなうのもありだと思う。
- 自校方式は作る、調理する側にも時間的余裕があるので、美味しいものが提供できている。見た目も良い。給食センターは12校分ということもあり、調理する側の時間に追われている感じが給食にも出ていて美味しそうに見えないものが多い。仕方がないことだと思われるが、児童、生徒への食育をしているなら、ちゃんと五感で感じられる給食を提供してあげてほしいと願う。
- コロナ禍の中様々な面で支出が増える中、税収は減り市の財政も厳しいことと思う。給食センター方式への移行であれば5億円近くの節約になる。その分コロナ禍で変化した教育面への支援に回せると考える。
- 私が小学生の頃は自校方式でお昼になるとプーンと良い匂いがしてきて、温かい食事が食べられて良かったので、全部の学校が自校方式なら良いと思うが、一部だけというのは公平ではないし、市の負担も大きいので、仕方がないのかなと考える。ただ、センター方式でも業者のものばかりでなく手作り感が大切だ。共働きの家が多い中、忙しくて家で手作りの食事が望めない子供も多くなるだろう。少しでも子供たちに手作りの料理、デザートなどを食べてほしいと願う。センターで大量に作るのは難しいのだろうが、安心・安全な食材で手作り感がある給食をとと思う。
- 特定の小中学校に高額な改修費を充てるのは不公平な部分がないとは言えないと思う。少なくとも私自身は不公平だと思う。このご時世で高額な市税を特定の学校のために使用するのはいかなものか。
- 公費負担の公平性の観点から、市内均一でセンター方式にした方が納税者、市民として納得できる。
- 添付されている資料を見ていると、金銭面が際立ち、センター方式にせざるを得なく思われる。桜台小中のPTAの方々とは納得いくまで話し合いをすることを願う。
- 給食に携わっている方々に感謝申し上げます。昔のことだが、我が子供たちも給食センターで食べた「さばの味噌煮」が美味しかったとか、いろいろ思い出があった。これからも子供たちの笑顔があふれるような給食の時間であることをお祈りしている。
- 自校方式の学校があることを知らなかった。
- 同じ白井市内なら、他の白井市内小中学校の子供たちと同じにするべき。自校方式が可能であれば、我が子もそうしてほしい。税金を使って給食センターを新しくしたのだから、桜台も他の学校と同じく給食センターにするか、印西市に合併してほしい。改修費に5億も税金を使わな

いでほしい。白井市民としては反対だ。

- 市内、すべて統一して運営した方が良いと思う。桜台小中学校が自校方式とは知らなかった。すべてセンターからだと思っていたため、統一して運営していけばいいのにとってしまう。特にアレルギー対応など、しっかりとできる環境を作っていくことは重要だと思う。
- この機会に公費負担が公平になることを望む。
- 基本的なことは守るべきだと思う。食育をすることはとても大切なので充実させてほしい。食育をすることで、残菜も減ると思う。市内で差が出ることは望ましくないと思う。市内で統一するためにも、給食センターに移行すべきだと思う。まず桜台小中学校だけ自校方式なのに驚いた。同じ市内で公費負担額が倍近く違うのはおかしいのではないかと思う。給食費は少し多く払っているとはいえ、差が出るべきではない。桜台地区の方からすれば自校方式の方がいいとは思いますが、他地区からすれば、一緒にしてほしい。
- 今までの自校方式は良いとして、見直しの必要性に伴い、新給食センターを建設したこともあり、統一すべきと考える。公費負担の不公平感がなくなる。但し、残菜率の差が気になる。自校方式の良いところをセンターで取り入れることが可能なら、一層良くなると思う。センターの有効活用は当然で、今後の地区の人口分布に変化があっても対応しやすいと考える。
- 一部の学校だけ自校方式で優遇するのには反対だ。大金をかけて給食センターを建設したのだから、給食センターでやりましょう。
- 白井市全校自校方式給食が理想だ。袋物、市販物が多いセンター給食はやはり美味しくなく、残菜の多さにつながっていると思う。センターの栄養士さん、センターだからとあきらめるのではなく、自校式給食に近づけるような努力をしてほしいと思う。調理員さんも同様、プロ意識をもって作ってほしい。新しいセンターだからできることを工夫してほしい。よろしくをお願いします。
- 今までも桜台地区だけの自校方式、不公平に感じている。加えて改修および親子方式は費用がかさみすぎる。給食センターはアレルギーにも対応していて好ましい。桜台だけを自校方式にした経緯が分からないが、給食センターも新しくなったばかりだ。旧給食センターをどうするかという時に次々と別の学区でも自校方式にしていったならばまだしも、そうはならなかった。これで桜台だけ莫大な経費をかけて更に自校方式を続けていくのは不公平極まりないと感じてしまう。市の財政状況を鑑みても1地区だけ特別扱いは考えられない。本来は全校自校方式が理想的だが、それができないなら平等にするべきだ。
- 子供には、安心安全な給食を食べてもらいたい。今の給食センターからも遠くないので、無駄に公費を使って改修や新設するよりコストも抑えられ、市内全ての学校の子供が同じものを食べる方が差別がなくてよい。残菜率が少し多いかと思うので、手間はかけられなくても調理の工夫をしてセンターの給食も美味しく食べてもらいたい。
- 財政状況を最優先にセンター移行を選択するほかならないことは明白である。
- 桜台小中学校だけ特別扱いすることなく、給食センターも建て替えしたのだし、他の12校と同じ給食センターにするべきだと思う。2校のために高額なお金を使うべきではない。他の学校は古く、いろいろ改修工事をしてほしい箇所もあるので、そちらにお金を使ってほしい。
- 桜台小中学校以外の学校は皆給食センターの給食を食べているわけだし、桜台小中学校が自校方式継続、親子方式に変更するとしても改修費、年間の運営費が給食センターに移行するよりもか

かるわけだから、給食センター方式に移行すべきだと思う。他12校が不公平に思えるので、市内一律、足並みをそろえるべきだと思う。

- 何より公平性が重要。税金の適正利用。この理由から給食センター移行しかありえないのでは。
- 25億円もかけた新給食センターを活用すべき。白井市の財政でこれ以上の負担は重いのでは。アレルギー対応も今後重要だと思う。
- 少子化の未来を考えると、改修してまで続けるべきではない。せっかく新しい給食センターがあるので、他学校と同様に活用すべき。工事費用が高すぎる。税金なので、見積もりをもっとシビアに計算してほしい。
- 市の財政状況からみて、給食センターにするべき。桜台小中だけ自校方式継続に経費負担は認められない。平等にすべき。
- 高額な改修費等をかけて桜台小中学校だけの為に自校方式を継続する意味が分からない。給食センターがあるのなら、市内全校給食センターで良いのでは。桜台小中学生の為にだけ高い公費負担はしたくない。不公平なのでは。
- 桜台小中のみ自校方式にする必要はないのでは。
- 自校方式の良さもあると思うが、改修費等を考えると新しくなった給食センターへの移行で良いと思う。今後児童生徒数の増加なども見込めないのなら、高い改修費をかけるのはどうかと思う。
- せっかく新しい給食センターができたのだから、移行した方が良い。市内で同じ給食でないと不公平だと思う。
- 自校方式の給食が理想だと思うが、今センター方式の新しい設備があり、桜台小中学校に新しい給食室を造る必要はないと思う。他の小中学校と公平性も保たれない。財政も厳しい中では市民の理解も得られないのではないか。
- 白井市全校給食センターで。
- 現在の給食センターはかなり桜台小中学校から近い場所にある。自校方式にこだわり続けるなら、公費負担を見直し、他校の不公平感をなくしてほしい。自校方式にこだわる意味が分からない。
- 同一市内の公立小学校、中学校において著しい不公平性があってはならない一方、食育の重要性は感じる。広く意見を募る方法を支持するが、自校方式のメリットも多少は示すべきではないか。添付の表を見れば、誰もが給食センター方式を支持すると思う。私自身も給食センター方式がベストだと考えるが。
- 残菜が少ないというのは単純に美味しい給食なのだと思う。しかし、市の財政状況、公費負担の公平性及び自校方式に至る経過を考えるとセンター方式にするべきと考える。
- 当初の事情は別として、現在2校のみが自校方式というのは理解できない。自校方式が優れているのであれば、白井市全体を自校方式にすべきであり、給食センター方式がよいとの判断であれば、桜台も給食センターからの配送に切り替えるべきである。
- 義務教育で公費を使うのなら、全校同じにした方が公平だと思う。昨今の情勢で飲食店もテイクアウトを勧めていると思うので、市内の店に週一でも毎日でも弁当販売の場を提供できないか。
- 子供が中学卒業後に引っ越してきたため、白井市の給食内容については知らないが、公立であるので公費負担の公平性を望む。財政的に見ても公平に抑えて運営してほしい。しかし、地区毎の特色、四季折々の食育などは、子供にとって大切な学びであり体験させてあげるべきものなので、

公平、安全、時短の給食をベースに月1～2各学校にて調理実習のような形でOBや保護者も含めて何かできるように公費を割り当てられたら良いと思う。

- 市の財政が豊かであれば自校方式にすべきであるが、予算がとれない現実を見つめてわがままを言うべきではない。
- そもそもなぜ桜台だけが特色を重視されているのかが疑問だ。近くに小倉台等があるのに、なぜ桜台だけ自校方式なのか。老朽化改善の方式として、改修費、運営費、給食費、公費どれをとっても他校と同じセンターにするべきではないか。そもそも義務教育の学校で自校方式とセンター方式の違いを造ったことが問題ではないか。近隣地区でやることに疑問だ。
- 以前各学校に給食室（調理場）をと公約にして議員に当選したが、白井市の予算がないと否決された。白井市は新しく給食センターを造ったのにどうして1000食にも満たない児童生徒の給食の為に億単位も使うのか。給食を運ぶ車と維持費を考えたら不要である。
- 自校方式をやめて全体を統一した方式にすべきだ。
- 新しい給食センターが稼働しているのに、市の財源を使って調理場を造る必要性が感じられない。少子化であるのだから、別な所に財源を使ってほしい。
- 改修費に多額のお金を使うなら、今後少子化で生徒も減るかもしれないので、給食センターに移行した方がみんな平等でいいのではないかと思う。
- 市内公立学校の公費負担は平等にすべきだと思う。自校方式継続、親子方式に変更の場合、改修費も市の財政から出すのは不平等感がある。
- 自校方式の給食は理想だし、他の学校もできれば自校方式が美味しさや満足度から良いに決まっている。でも、市の財政状況が芳しくない中、桜台の特色を守るためだけに高額な出費をするにはリスクが大きい。コロナに続く別の感染症出現も恐れられ、ますます税収減少や市財政からの支出増加が考えられるので、新しい基準を満たした給食センターを有効に活用してほしい。
- 公費負担の公平性を最優先としてほしい。食育、残菜率の改善については、より予算の計上をお願いしたい。
- 自校方式継続の場合は改修費等が高すぎるのと、市内学校で統一された方がいいと思うので、給食センター提供にした方がいいと思う。
- 平成31年に建設した給食センターに調理能力等の問題がある等の理由はなく、アレルギー対応も出来ているから、老朽化を機に市で統一すべきだと思う。
- 新しい給食センターが出来たので、公平性からセンターにした方がよいのではと思う。
- 給食のありようとして自校方式は望ましいと思うが、新給食センターができたので、統一した食生活の中で充実を図ってほしいと思う。
- 自校方式のメリットに対し、負担が大きいと思う。もしメリットが多いならば他校も自校方式にしないとつじつまが合わない。学校単位で独自性は必要ないと思うし、センター方式でも十分な内容でありがたいものだ。
- 当時の状況から自校方式で開設したことは良いと思う。今現在、新給食センターを開設している中で新たに4～5億もの費用をかけ改修することはやるべきではないと思う。白井市の子供たちは皆同じと考える。
- 負担の公平性、安全性を最優先し、白井市の財政の健全化が必要と考えるが、栄養士や調理員を解

雇せずすむよう、アレルギー対策、残菜率を減らすための献立の工夫、食育指導などに力を入れてほしい。

- 桜台の2校ができた時に今後当然このような事態を先送りにした問題が時間経過の折、起こることは分かっていたことだ。そういったことについて、年次において話し合ったことがあったのでは。当然桜台の方たちはそこで作って食べさせたいでしょう。他校ではこのことを不公平だと思っているのか。
- 公費負担に倍近く差があることは公平性に欠ける。給食センターを新しくし、味も良くなっていると評判だ。桜台地区だけが特別なのは良くないと思う。
- 美味しく楽しいが一番だと思うが。
- 市内で均一な給食を提供してほしい。改修、又は建設にお金を使うのはもったいない。
- 充実した自校方式は子供たちにとってとても良いことと思う。コロナも長引き、白井の財政が気になるところだ。
- 給食センター方式は食事作りを身近に感じられなくなるデメリットがある。その分生活科、家庭科等の授業を通じて食材、流通、調理、環境への学びの機会を十分にサポートする対応は必要と考える。
- 開校当時、確か文部省のモデル校だったと思うが。給食センターに調理能力があり、アレルギー対応ができる中、新たに億単位の公費を支出して自校方式するべきではないと思う。市内の小中学生が同じ給食をとることが公平性にもつながると思う。市の財政が思わしくない中、桜台地区だけ特別扱いするべきではなく、できるだけ支出を抑えるべきだ。給食センターでまかなえるわけだから。
- 税金の無駄遣いのないように対応希望する。最も効率の良い給食センターが公平に見て最良だ。それ以上を望むなら聞いても良いが、そうではなく無駄に高望みしている人の意見は害しかなく、聞く必要はない。
- 公費負担の差額が大きすぎる。衛生と公費の問題は重要と考えるが、別紙に味のことが一切記載なく、味も比較対象として調査してほしい。
- 衛生管理面は特に気を付けてもらい、子供たちの食べ残しが出ない工夫をお願いする。
- 自校方式のメリットは特にないものとする。市の財政面からも給食センターに統一するべきと考える。
- 給食センターを上回る維持費、人件費他を桜台地区児童生徒家庭に全て負担する場合の金額をはっきり出した時（115,000円）、それでも自校方式を希望する人がどれだけいるのだろうか。わがまま？夫婦共働きが普通になっている昨今、半年以上給食なしでお弁当作りは働く主婦にとって大変な負担だ。「かわいい我が子のためにお弁当を作るのが大変というのは、愛情が足りないのでは？」と言えるのはよほどのやり手かまたは家庭的に恵まれた傲慢な考えの人ではないか。お弁当を作る時間を自身の休養の為とか他の有意義な時間として使うのはいけないことか。
- 桜台は自校方式と今まで知らなかった。大阪府から小学3年で引っ越してきてから中学卒業まで、白井の給食が美味しくなく、いつも給食の時間が辛かった思い出がある。給食センターの給食が子供たちにとって美味しく楽しい思い出になるといいなと思う。改修費等があまりにも大きな差があることを考えると、自校方式の給食の存続を希望するのは身勝手に感じてしまう。何億円も

- かけて存続するよりも、白井市に住む子供、皆に有意義なお金の使い方をしてほしいと考える。
- 今後の市財政も理解した上で自校での調理を希望する気持ちも理解できるが、他の学校が給食センターでの提供であれば、桜台地区も他校と同様で良いかと思う。その分食育の充実を図ってほしい。少子化もあり、子供も減少している中に新たな調理場建設はないと思う。そこにかかわる費用は、別に優先する事案に使用すべきかと思う。白井市として方向性の明確化、人口増加、税込増を目指すのであれば、実行する為の検討や計画等の内容が決まっていくのかと思う。
 - 自校方式の方が子供たちには人気がある。美味しいという意見があるのは理解している。桜台小中だったのは、以前の給食センターではまかないきれなかったからだと聞いている。新しくなし坊キッチン（給食センター）ができて全小中に提供できる能力があるのであれば、新しく桜台小中に施設をつくる必要はないと考える。その費用を全小中の給食をよりおいしくすることに使えばよいと思う。
 - 今になってどうして検討しているのか。平成31年に立派な給食センターを建てて、桜台小中の給食も対応するという事だったはずではないか。このアンケートの集計や用紙は無駄遣い。私たちの税金だ。公費負担の差を見てびっくりした。給食センターに移行して公平にして手間と愛情をかけた美味しい給食をお願いします。
 - 給食センターが新調されてから特に魚料理が美味しいと聞いている。味の改善や残菜の減少に力を注いでほしい。
 - 市の財政が苦しい中で改修費、公費負担を減らすべきである。
 - 桜台だけ特別扱いするのはどうかと思う。公平に行うべき。この先、桜台地区の児童の増加が見込まれないのに、多額の費用をつぎ込み改修するのはいかなるものか。市が財政難の時に行うことはないと思う。
 - 桜台小中の自校方式は大変面白い試みだと思う。給食センター方式ではないので、一部衛生管理で基準を満たしていない点やアレルギー対応が足りない点があるが、別の方式は同時並行として行うのは良いと思う。
 - 公費負担の公平性は最優先すべきだと考える。自校方式にすることで、公費負担は少なくなるならその方式でも検討する価値があるが、改修費、年間運営費、公費負担、給食費、全てにおいて増額で自校方式、親子方式はNGだ。
 - 税金を使うので公平性が必要。同じ給食センターに移行すべし。
 - 一つの学校だけにこれだけの問題ですむのか。桜台を無くして南山や池の上に転入させる方が少子化も考えたら良さそう。既にこの人数に対して維持費もどうかと。
 - 自校方式の2校は改修までして続けるべきではないと思う。改修費用の金額の多さと年間の運営費が他校と比べ4倍にもなっている。不公平な上にこんな費用は無駄だと思う。市民の税金をもっと有益なことに使うようお願いする。
 - 公平性、万が一の原因究明のスピーディー化等を考えると、市内統一が良いと考える。
 - 給食センターを設立するのに税金をかけているのに、また新たに自校方式にするというのは反対だ。せっきゃく給食センターを新設して造ったのでそれを活用し、改修費はなるべく抑えるのが良いと考えている。
 - 桜台小、桜台中2校も他12校と同じようにするのが良いと思う。

- 桜台小、桜台中だけが自校式なのは何故だろうと思っていた。開設当時の事情を始めて知った。自校方式の方が美味しいと聞か、衛生管理基準を満たしていない点、アレルギー対応無し、何より年間の運営費の公平性を考えると、桜台の方は残念だと思うが、他校と同様に給食センターに移行するのが妥当ではないかと思う。
- 桜台小中学校が改修費を全額もち、自校方式をとるのであれば構わないが、公費というのは不公平だと思う。また、必要性がない。白井市内は給食センター方式にて統一すべきだと思う。その為に新しく建設したのではないのか。衛生管理面を初めとして、自校、親子方式にする必要性を感じない。桜台小中学校での良い点を給食センターに反映し、今までよりも美味しいメニューにしてほしいと思う。最近は新メニューが増えていい。高額な改修費は栄養士、調理員の増員等に充ててほしい。
- 自校方式があるのは知らなかった。市内なのだから平等に。アレルギーのことや残菜のこともあがるが、やはり公費の公平性等も考えて平等と公平性、衛生管理等を考えてセンター方式に変えてほしいと思っている。
- 市の財政と他校との比較を考えるべきだと思う。
- 食の安全性と負担の公平性が必要。市の中心部に給食センターがあり、運搬時間も他校との差がないのであれば。自校方式と給食センター方式での残菜率が違うのはなぜか。残菜率が多いというのは、改善検討する必要があるのではないかと思う。
- 別紙を見る限り、公費負担だけではなく、給食費にも差があり、公平さに欠けるところが気になるのだが、その分残菜率が少ないことから自校方式ならではのメリットも感じられるので正直迷う。私は転校したばかりで分からないが、学区とかの決まりがなく、桜台に行きたいと希望する家庭の中には給食の内容なども考える人もいるのか。センター方式よりも自校方式の方がメニューが良かったりするのか。自校の良さを給食センターは取り入れた方が余計なまかない費もかからずによいのでは。個人的にはセンター方式で一括にまとめ、センターの調理能力をあげれば良いのではないかと思う。今後の人口増加率にもよるが、調理能力を見ると、すぐ限界がくるのでは。災害が起きた時に一つのセンターがつぶれたらどうなるのか。2つ残しておくのも良いかもと思った。ただ、とりあえず現状の自校方式はアレルギーや衛生面の見直しは必要。
- 給食センターの味に関して不満がある。子供はいつもご飯の分量が違うことや味付けが美味しくない、肉の量が少なすぎると言っている。是非改善してほしい。
- 桜台地区の特色で自校方式は児童、生徒にとっても、とても良いと思うが、改修費や年間の運営費を見るとそこまでして自校方式にこだわる必要があるのかと思ってしまう。
- 4900万円という我々の税金が桜台小中にこのような形で使われていることに納得できない。これを機に他の学校同様、速やかに給食センター方式に移行すべきだと思う。
- 生活困窮家族が増えていると聞く。給食はそのような家庭の子供たちにとってのセーフティーネットだと思う。運営コストの削減を進め、保護者負担の軽減を進めてほしい。
- 自校方式の公費負担の公平性がないと思った。給食センターを新しくしたのだから、市内の小中学校は全てそこからの提供が合理的だと思う。改修費の差額を使えるのならば、センターの内容を変える方が良いと思う。特に子供がいない家庭も納得できると思う。逆になぜ桜台小中だけ、という疑問が残る。

- 公費負担がかなり差があることに驚いたが、残菜率からいうと桜台の給食に児童生徒が満足していると感じる。今後合同にしてその分で、公費で桜台の良いところを取り入れ、市内の子供たちがより美味しく食べられるよう給食を提供してほしい。
- 桜台以外でも自校方式を希望する人はいると思う。公平ではないと感じる。現状から自校方式の改修に必要性をあまり感じない。
- 20年前、子供が小学生の時、アレルギー対応をしてもらえずお弁当持参だったので、現在は対応可能なのは好ましい。学区によって差が生じるのは好ましくない。現在は税金の使い方は平等が基本だ。一部の所に偏らないようにしてほしい。子供たちが快適に学校生活を送れるため、エアコンの設置や改修費等に税金を積極的に使ってほしい。
- 別紙①の現状を見ると、何故桜台小中学校PTAの方々の74.6%もが自校方式を支持されているのか具体的意見を知りたいと思った。自校、センター方式、それぞれに良い点、悪い点があると思われるが、それぞれで改善可能と考えられるし、一方式でなければ実現できないものではない。社会の変化で給食の重要性は更に増している。家庭できちんとした食事が出来ていない子供がいると耳にする。1日1食でもおいしく、栄養豊かな食事を提供できるよう取り組んでほしいと思う。
- 桜台小中を給食センター方式にしたら、予算でその分みんなが美味しい給食になると思う。
- 効率や公平性を考えると、センター方式への移行は妥当と感じた。その上で、自校方式の良い点をセンター方式に取り入れる工夫をすると良いと思う。どちらかの選択ではなく創意工夫を行い、要望に合った給食作りを行ってほしいと願う。
- 真剣に税金の使い方と子供たちの処遇を考えていただき感謝したい。
- これから先、生徒数が減るかもしれないのに、改修費に4~5億かけるのはどうかと思う。給食センターも新しくなったので、そこで市内の学校分を補えれば良いと思う。何億というお金をかけるなら、その分でもっとお金をかける部分があると思う。子育て関係など。食費などにもお金をかけられる。私が通っていた学校も自校方式は難しく給食センターになったので。
- 残菜率の高さに驚きだ。以前機会があり学校給食をいただいたが、美味しかった。センター配送物でした。食育は知ることだ。センター見学を児童、生徒、保護者にしてもらってはどうか。一般人のお試しはだめか。有料で。コロナが終わったら、現在の給食を食べてみたいと思う。
- 日頃子供たちの給食に関係している。皆様に大変感謝している。育ち盛りの子供たちが栄養バランスのよい食事をお腹いっぱい食べられること、この成長期に一食ではあるが大切な栄養源であると思う。自校方式の方がいろいろ配慮ができるのかと思うが、これからの一歩とするには改修経費を考えると給食センター方式が良いのではないだろうか。
- 安全第一。同市内で給食費に差があるのを知らなかった。工期が最短給食提供も提供でき、運営費も安い。残菜率を見るとなぜ差があるのか気になるが、それよりも給食費が市内で差があるのは良くない。「桜台のように」を全校では叶わないかもしれないが、食育の方も力を入れて取り組んでほしい。
- 本来であれば自校方式が理想。作る人の顔が見えることで食に対する感謝の気持ちをより強く感じることができ、食に対する興味も出てくるが。現状では公費の負担、改修費などを考えると給食センター方式にするのが妥当ではないかと思う。

- 新給食センターの調理能力で桜台小中学校の給食がまかなえるようなので、市の財政がひっ迫している今、改修工事に支出するのはいかがなものかと思う。同じ市なのに桜台だけ優遇されるのに疑問。
- 市の財政状況が大変な中、高額な改修費となる自校方式や親子方式には反対だ。もし、自校方式に決まったとなれば、半年以上の工事の間給食が提供されず保護者への負担が生じ、困る家庭も出てくるのではとあってしまう。74.6%以外の1/4ほどの少数の方の意見は何と言っているのか。公立小中学校それぞれに特色はあってもいいとは思いますが、公費は市内の学校の全体を見て給食センターの改善など、公平に使ってもらいたい。
- 自校方式にこだわるのは保護者のエゴ。市財政や給食の安全性、効率性を考えれば給食センター方式にすべき。本来給食センターが完成した時点で全校統一すべきだった。
- 自校方式の給食の方が手間がかけられる分美味しいことは十分分かっているが、改修費や工期、年間の運営費、一人当たりの公費負担等を考えるとこの機会に給食センターへ移行した方が良いのではと考える。センターの方では残菜率が減るよう、他県の自治体での取り組みを参考にしたり、地産地消を心がけ、子供たちが給食が楽しみ、と思えるようこれからも頑張ってもらいたい。
- 合理性を念頭に安全安心な提供を願う。公費の公平な支出を願う。アンケートを実施した経緯は不明だが、適切な公費適用をお願いする。
- 自校方式の利点も理解するが、安全な給食の提供を第一と考え、センター方式が良いと考える。
- センターで調理能力があれば、移行した方が効率的。私が子供のころ通っていた小学校も自校方式で良い点が多かったが、新センターを建設し調理能力があれば、移行するのが良いかと思う。ただし、今までよりもう少し調理員さんの人数を増やして調理に手間をかけられるようにすると、白井全体の子供たちにとって良くなるのではないかと願っている。
- 公費負担の公平性は当然のことである。今後の少子化の進捗により益々一人当たりの負担額は増加すると考えられる。市の財政収支の約半額を納めることができるので、給食センター方式に移行するのは当然。残菜率16.1%を大幅に下げる施策を早急に実施。目標値を設定して専門の意見を聞く。今までやっていないのか。保温材、保温車等、一時経費増となっても残菜率の低減を進める。廃棄食材の低減は必須。
- 公費負担の差にはただただ驚きだ。こんなことが行われているのか。給食センター方式にすぐに移行すべきだ。税の不公平だ。
- 給食センター方式に統合し、効率性を高めるべき。個別によるメリットはセンター方式でも可能になるように工夫が必要。但し、リクエストに応える部分は不要で、健康を中心にした献立とし、コストメリットを生かしてそれを食材や調理の工夫に向けるべき。残菜が気になるが、登校人数による食数調整など、一般的な企業の社食で行われているようなことはした方がよい。ESGも立派な食育の一つであると思う。
- 自校方式の存続を希望する気持ちは理解できるが、改修などにかかる莫大な費用は市の子供たちの教育に公平に使われるべきだと思う。給食もちろん大切だが、他にも公費をかけるべきところはたくさんあるはずだ。
- 経費や衛生管理面からしても、また市として巨額を投資した給食センターを活用すべきと思う。
- 改修費や運営費も市の財政負担なら、給食センターを利用してほしい。衛生面においても、一括管

理ならば安全であるだろうし、もし食中毒などがあれば、原因も責任も追及しやすい。給食センターを利用すれば、アレルギーにも対応できるため、残菜は減るかもしれない。白井にできた新しい給食センターは、利用すべきだと思う。桜台地区の特色だとしても、改修改善などで市の財政を利用するならば、給食センターを利用してほしいがそれができないのであれば、地区でまかなえばいいかとも思う。

- 桜台小中学校だけになぜ市のお金が多く使われているのか。どうして自校方式のまま継続することが案として出ているのか、不平等に思った。
- 給食センター設備にとっても満足している。自校方式が良くないのではなく、より基準を満たしている調理場があれば、そちらを利用した方がより効率的ではないのかな、という意見だ。
- 自校方式の場合、献立や食育に何か特色があるのか。桜台小中学校の方々が自校方式を望む理由を知りたい。給食センターが新設され、市内小中学校の給食を全て1カ所で作れるのであれば、そこに集約すべきだと思う。自校方式に何か特色があるのならば、給食センターでも取り入れていけば良いと思う。アレルギー対応がきちんとされていることが一番大切だと思う。
- すべての学校が統一された安全な食事。子供たちに「今日の給食は美味しかったですか。」と聞くと、下校の子供たちは「美味しかった。」との返事がある。
- 調理員一人当たりの担当食数は桜台51食、桜台中22食、センター133食と大きな開きがある。この数の違いを考慮せず、調理の内容を比較するのはいかがなものか。例えばセンター方式でも人員当たりの担当食数が50食くらいになれば。食数が多く配送・・・などというネガティブな意見にはならないはず。
- 給食センター方式とする、に同感である。
- 給食センター一カ所で行うことにより、管理しやすいと思う。食育に関しては、センターに子供たちを見学させる授業をしてもよいのではないか。
- 自校方式があることを知らなかった。全て給食センター方式だと思っていた。自校方式である必然性が思い当たらない。自校方式で良い点は、配送時間が無いということだけ。今後白井市も子供が減少することを考えても、センター方式が良いと思う。
- 市内で公平、均一な食育の提供をするべき。公平、均一に給食の提供を。市内の学校教育、食育の公平均一を求める。
- 改修費等が最も安価であり、公費負担の公平性により最適。
- 感染対策としても衛生管理を重視した方が良いと思う。財政の節約と市民負担の公平性を考えた。
- 公費負担を少なくし、公平性を大事にしてほしい。費用を少なくしたい。
- ハコモノを新規に造る必要がなく、既存の施設を使用すれば良いと思う。市内均一とすべきである。
- 公平性。
- 子供たちに対してしっかりやってほしい。お互いの知識をもつての、より良い学校給食を。
- 安全は確保してほしい。
- 現在コロナが猛威を増している。他校と同じがよい。感染リスクが少ない。
- どの学校でも給食内容が変わらないこと、行政の負担が公平になること。
- 桜台だけ自校方式では、公平ではない。

- 公費負担と公平性。
- 効率が良く、公平性が保てる。
- 住宅地開発と経年で児童生徒の数は増減する。劣化を機に給食センターにて統一的に提供する方が今後柔軟な対応が可能になるのではないか。
- 個人的に、もしくは桜台小中学校に通わせている保護者であれば、給食が近場で調理されたもの、また、声が反映されやすいことから自校方式による給食は望ましいと考える。当該学区のPTAアンケートによると75%位が自校方式を特色としてなどと希望するのは当然だ。あったものは無くしたくない。当たり前数字だ。調理場が遠くなるので給食の一括配送と食するまでのタイムラグ、また声が反映されにくいというのが一番の心配事だ。だが、センター方式に移行して大きな問題は少ないだろう。課題があることは改善に努めてほしい。行政にも財源が必要だ。特色としての要求にあまりにも負担が大きい。他校からすれば、なんで桜台小中学校が特別なのかという声が出たらどう対処するのか。他校のPTAからは、給食について何か問題提起されているのか。Y市にも4校ほど自校方式があるが、いずれもセンター方式に移行したいという声だった。

【(6)でその他を選んだ方】

- 当事者でないので、安易に答えることはできない。できれば保護者の方の意見を尊重してあげたいと思う。自校方式でアレルギー対応も出来るということならそれが一番良いことだと思うが、無理ならセンター方式もやむを得ないのではとも思う。
- 検討委員会に生徒も参加できるとよい。当事者でないとしても財政効率化を考えてしまう。しかし、それでよいのか。食育は授業だけで十分だと言えるのだろうか。地産地消やフードロスの問題等、給食を通して実感できる食育ができると良いと思う。金銭的な面だけではなく、自校方式、センター方式にした場合のそれぞれのプラス効果の検証が必要と考える。当事者間で議論を尽くしてもらいたい。
- 親子方式も良いと思うが、メリット、デメリットが不明。残菜の問題が全て表していると思う。自校方式の良さを残してほしい。
- 子供のことを考えたら自校方式も良いと思うが、改修費が高いため給食センターに移行せざるを得ないのかと考える。ただ、改修費のコストダウンが可能なら、自校方式継続が良いと思う。食は子供の将来にとってとても重要だと思うので、給食センター方式の子供たちにも温かい、美味しい、安全性の高い料理、充実したメニュー等の提供をしてほしいと思う。給食で食わず嫌いの子供が減ることを願う。
- 自校方式にしても、センター方式にしても給食があるだけでありがたい。現在、中学、高校、大学の3児の母である。我が家は皆、給食が大好きで毎日おかわりしているが、残す子がたくさんいるとのこと。捨てるなら持って帰りたいと日頃言っている。地元農家の食材を使って、残菜をなくしてほしい。
- コスト面＝給食センター。安全面・将来性＝親子方式。アンケートの資料にセンター方式に誘導するような偏りがあるように思える。桜台の方々が自校方式給食の存続を希望している理由などが分かる資料をつけるべきだと考える。今後の都市計画で、桜台地区だけではなく、白井全体で小中

学生の人口が増える見込みがなければ、市の財政状況を考え、給食センターに移行することはメリットがある。しかし、安全や防災の観点からリスク分散で桜台の給食室を残す選択も有効であるのではないだろうか。

- 給食費にどのくらいの差が出るかわからないので何とでも。差はない方がいいと思うが、自校方式の方がとても美味しいと聞いたことがある。自校方式は維持してほしいけれど、公費は給食だけに使うものでもないで、あまりにコストがかかりすぎて他のサービスに影響が出てしまうのも困ってしまう。給食も大事だが。
- 全員同じでなくてもよいが、アレルギー対応は大事。松戸の小学校出身で、当時自校方式でとても美味しく、今でも思い出が多い。市内全ての給食を統一する必要はないと思う。新建設で給食を学校以外の有償提供も考えても良いと思う。
- そもそも給食センター方式は必要ない。食事は家庭で賄うべき。事情があると言っても自分のことは自分です、と将来を見据えて周囲が教育すればよい。コンビニだってなんだってある。その予算を本来の勉学へ充当すべき。おにぎりだって良い。自分で作っても良い。ネグレクト、貧困家族は別の範ちゅうで考えるべき。私の納入している微々たる税金の1円たりとも給食には使ってほしくない。
- 桜台小中学校の公費負担が倍以上であることは不公平。桜台地区が自校方式であることが白井市の何のモデルケースなのか。他の学校が希望した場合、自校方式にできるのか。明らかにしてほしい。桜台地区への特色ある学校をつくるために多くの税金を投入する分、給食費の未払い問題を解決するように、小学校の給食費を無償化する費用にしてほしい。
- 学校の給食に頼るのではなく、各家庭で美味しい食事を作ってあげればよいのでは。主婦も忙しいのか。ジャンクフードの味の濃いものばかり、甘いコーラ等、飲食している子供をよく見る。だから、残食が多くもったいない。
- 給食について切実に考えたことがない。そんな立場で軽々しくアンケートに答えることはできない。やはり当事者同士で議論することが望ましいように思う。
- 給食センター移行と思うが、給食費が500円くらいの差で残菜率が大幅によい点を考えるとどちらがよいとは難しい。
- 給食センター方式を改善し、残菜を少なくする。